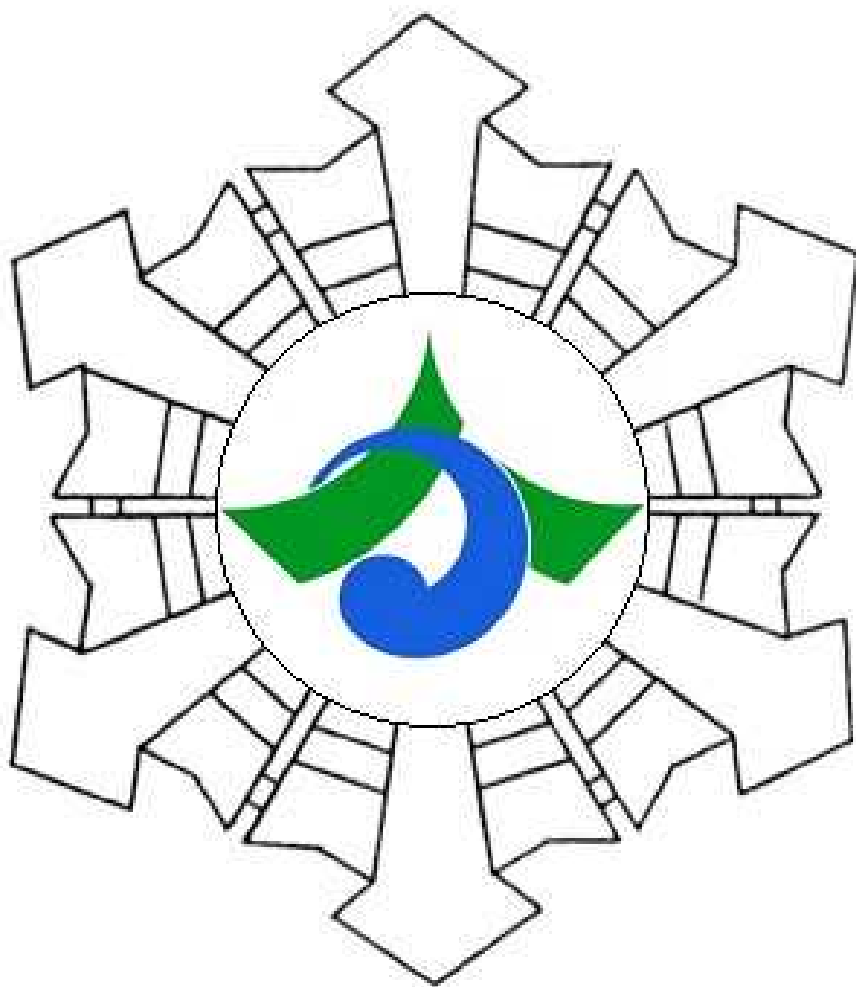


消防年報

令和2年度版
(令和3年発刊)



かほく市消防本部

は し が き

昭和52年4月1日、河北広域消防事務組合消防本部が業務を開始してから44年
余り経過し、平成16年3月1日には市町村合併に伴い宇ノ気町、七塚町、高松町が
合併し、かほく市が誕生、かほく市消防本部が発足いたしました。この間、関係当局
の議会、消防関係機関並びに地域住民の深いご理解と絶大なるご協力に対し感謝申し
上げます。

ご承知のとおり、科学の進歩と社会経済の急速な進展にともない、生活様式の変化
は、災害の多様化と複雑化を呈しており、又、近年は東日本大震災をはじめとした地
震による甚大な被害が日本国内はもとより世界各国で発生しております。

消防として今後とも地域社会の中心となり、火災・防災思想の普及徹底に務め、消
防施設の整備拡充、救急体制の強化を図り、刻々と変化する社会情勢に対応できる消
防・防災体制を確立することが急務であろうかと存じ、それによって地域住民の期待
と信頼にこたえるものと確信いたします。

この年報は、当消防本部の平成30年度から令和2年度の3ケ年にわたる消防・火
災・救急・救助・予防関係業務の概要をとりまとめたものであり、本書が消防防災関
係者はもとより、地域住民各位の参考資料として寄与するところであれば幸いと存じ
ます。

令和3年10月

かほく市消防本部

消防長 澤野 秀紀

目 次

かほく市の概要

1	位置及び地勢	1
2	人口・世帯数・面積	1
3	消防機関の配置図	2
4	名所・旧跡・天然記念物	3
5	かほく市消防本部の沿革史	6

総務関係

1	消防本部・消防署・分署の位置等	1 7
2	消防組織図	1 7
3	歴代組合長・消防長等	1 8
4	財政状況	
	（1）過去3ヵ年の当初予算の推移	1 9
	（2）過去3ヵ年の決算額と構成の推移	1 9
5	消防施設等	
	（1）消防施設の状況	2 0
	（2）消防用車両等の状況	2 2
6	消防職員の状況	
	（1）職員の配置状況	2 3
	（2）階級別年齢別職員数	2 4
	（3）在職年数別消防吏員数	2 5
	（4）消防職員の教養	2 6
7	消防本部・署・分署の出動状況	2 7
8	消防力の基準と現有消防力	
	（1）消防施設関係	2 8
	（2）人員の関係	2 8
	（3）現有消防力の指数	2 9
	（4）消防水利	2 9
	（5）消火栓・防火水槽総数	2 9
9	消防クラブ等の現況	3 0
1 0	気象状況	
	（1）気象状況	3 1
	（2）気象状況等の受信状況	3 2
1 1	「119番」受信状況	3 5

火災統計

1	火災の状況	3 6
2	火災による焼失面積及び損害額の状況	3 7
3	出火原因別火災の状況	3 8
4	月別火災種別出火状況	3 9
5	曜日別火災種別出火状況	4 0
6	時間別火災種別出火状況	4 1
7	気象別火災種別出火状況	4 2
8	火災による死傷者の状況	4 3
9	被害額1,000万円以上及び死者の発生した火災一覧	4 4

救急統計

1	救急業務の概要	4 6
2	月別事故種別出動状況	4 9
3	時間別出動状況	5 0
4	事故種別覚知別出動状況	5 1
5	事故種別曜日別出動状況	5 2
6	事故種別年齢区分別搬送状況	5 3
7	救急隊員の行った応急処置の状況	5 4

救助統計

1	救助活動状況	5 5
---	--------	-----

予防関係

1	防火対象物	5 6
2	防火対象物の火災予防査察実施状況	5 7
3	高層建築物の状況	5 8
4	建築同意事務の処理状況 (1) 用途別状況	5 9
	(2) 工事別状況	6 0
5	消防用設備設置状況	6 1
6	火災予防条例に基づく各種届出状況	6 2

危険物関係

1	危険物製造所等設置状況	6 3
2	危険物製造所等の許可・完成検査等の状況	6 4
3	数量別製造所等の状況	6 5

消防団関係

1	消防団(分団)の位置等	6 6
2	消防用車両等の状況	
	(1) 消防ポンプ自動車	6 6
3	消防団員の状況	
	(1) 階級別消防団員数	6 7
	(2) 年齢別消防団員数	6 7
	(3) 在職年数別消防団員数	6 7

かほく市の概要

1 位置及び地勢

当消防本部の位置は、石川県のほぼ中央に位置し、県都金沢市の約20～25km圏内にあります。西に風光明媚な日本海を望み、北は宝達志水町、東は津幡町、南は内灘町に接しています。

地勢は東から西に向かい、山地、丘陵地、段丘地、沖積低地、海岸砂丘地で形成されており、北部では大海川が日本海に、南部では宇ノ気川が河北潟に注いでいます。また、これらの地形と一体となった緑豊かな自然環境を有しています。

なお、砂丘地には、ぶどう・スイカ・長いも・大根などの畑作農業がさかんであるとともに、電子機器製造、繊維工業、鉄工業等の産業が発達しています。その他の地域にあつては稲作農業がさかんであります。

2 人口・世帯数・面積



3月31日現在

年 数	人 口	世 帯 数	面 積
平成30年	35,182	12,824	64.44km ²
平成31年	35,439	13,134	
令和2年	35,574	13,365	

3 消防機関の配置図

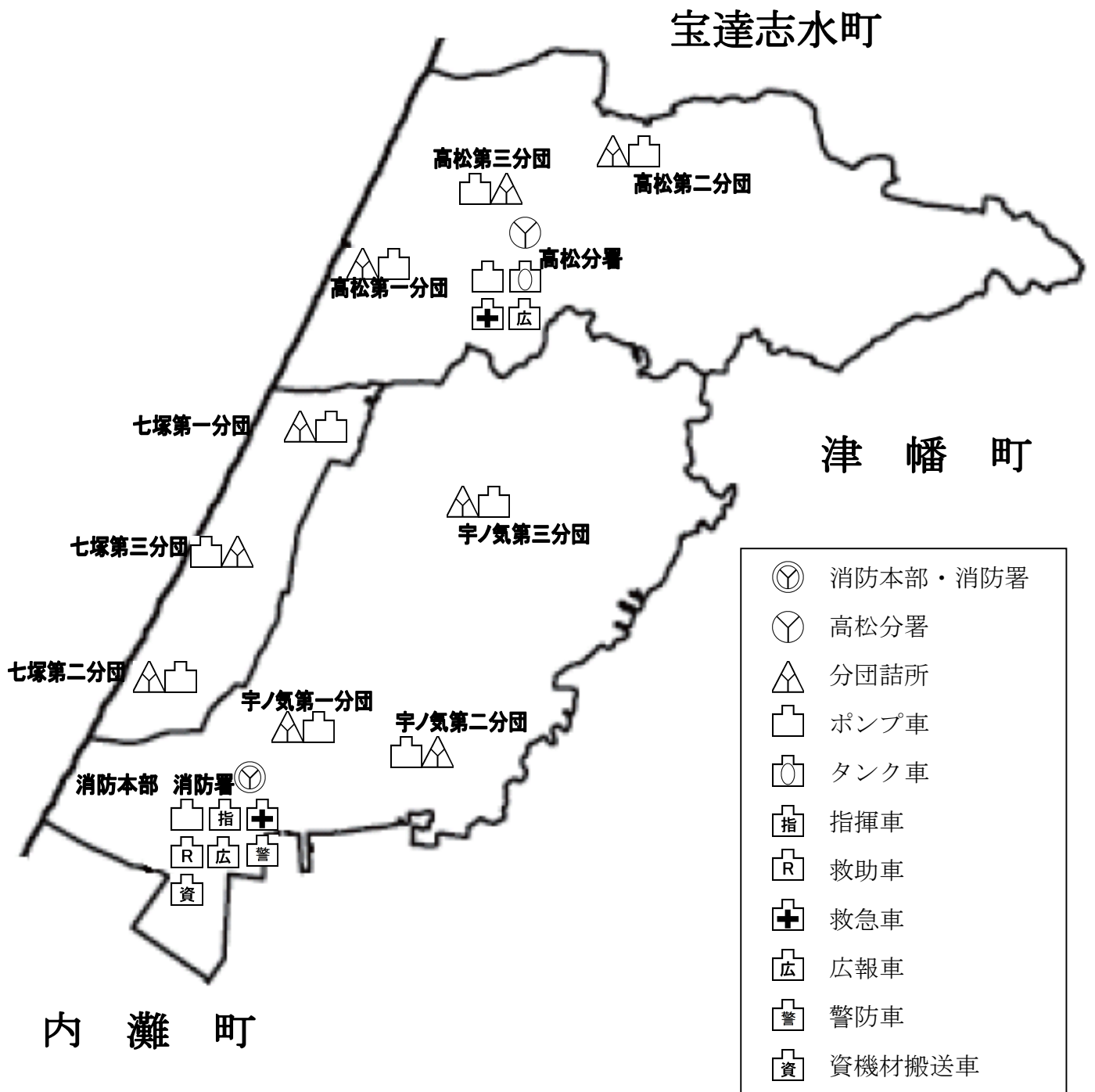


かほく市消防本部
消防署

東緯 1 3 6 度 4 2 分 1 6 秒
北緯 3 6 度 4 2 分 3 7 秒
面積 6 4 . 4 4 k m²
人口 3 5 , 6 8 5 人
(令和 3 年 3 月 3 1 日)

かほく市消防本部
消防署 高松分署

東緯 1 3 6 度 4 3 分 2 3 秒
北緯 3 6 度 4 6 分 0 秒



4 名 所 ・ 旧 跡 ・ 天 然 記 念 物

(1) 名所

○石川県西田幾多郎記念哲学館・骨清窟（旧宇ノ気町字内日角）

世界的哲学者西田幾多郎博士の功績を記念して、平成14年竣工、開館した。設計は著名な建築家、安藤忠雄氏による斬新なデザインで哲学館の名にふさわしい。

内部はコンピューターを駆使した思索ゲームや古今の哲学者、宗教家を紹介したコーナー、博士の遺品や書籍を陳列したコーナー、あるいは何もない思索の空間に身をおき静寂を楽しむ「空の庭」など、哲学に対しさまざまなアプローチがなされている。

昭和49年、西田邸が取り壊される際、書斎「骨清窟」部分のみ故郷かほく市（旧宇ノ気町）へと移築されました（旧西田記念館横）。その後、平成22年に石川県西田幾多郎記念哲学館敷地内へ、再度、修復移築されております。

移築にあたっては、建物の細部に至るまで忠実に再現され、また、家具や書籍なども実際に博士が使っていた当時のまま残されています。今も変わらぬたたずまいを残す書斎からは、博士の息遣いが聞こえてきます。

平成15年には、国の登録有形文化財に認定されています。

○しだれ桜（旧宇ノ気町字上山田）

今から約90年前、旧宇ノ気町字上山田 喜多久雄氏の祖父が兼六園内瓢池の小島にあったものを2本わけてもらい、1本を同町山田小学校の校庭に、1本を自宅の庭にそれぞれ植えたものである。2本とも大きく育っていたが、山田小学校が廃校になる際、兼六園に移植しようとして準備していたところ、これは枯れてしまったが、喜多家のものは地形上強風にあたることなく大きく育ち、見事な花を咲かせている。

○白尾灯台（旧七塚町字白尾）

白尾灯台は、大正3年に河北郡立として白尾の海岸砂丘地に設置され、日本海沿岸を航行する船舶、漁船の航路安全と海難救助に大きな役割を課してきた。その後、大正12年に郡制が廃止されると、七塚村営灯台として移管され、昭和24年4月国営に移管されて今日に至っている。昭和42年11月木造であったものを鉄筋コンクリート造りのスマートな小型灯台に改築されている。

○ぶどう（旧高松町砂丘地）

ぶどうは、大正8年金沢出身の、市村栄次郎氏が、高松町岸川町の砂丘地において、約66アール（6.6反歩）試植したのがはじまりである。昭和14年には栽培面積も123ヘクタール（123町歩）にふくれあがり、さらに、昭和26年には250ヘクタール（250町歩）となり、販路は遠く北海道、九州まで拡大していった。昭和34年ジベレリン浸漬法による種なしぶどうの栽培が成功し、食べやすい種なしぶどうとなった。その後、ビニールハウスによる促成栽培が導入されている。

（2） 旧跡

○上山田貝塚（旧宇ノ気町）

旧宇ノ気町の開業医 久保清氏の手により、昭和6年3月同町上山田小字和田で発見され、同氏の自費で発掘された。この貝塚は、富山県氷見市朝日貝塚と並ぶ北陸の代表的な貝塚であり、多数の貝類、獣魚骨、土器、石器、骨角器などが発掘されており、特に、土器類は、山内清男博士の鑑定によると、縄文中期のものと判明し、これを上山田式と型式名がつけられた。

○高松口銭場（旧高松町）

高松は古くから、加賀より能登に通じる主要街道として知られ、寛永19年に藩の命に依り、旅客や荷物を運搬するのに宿場ごとに駅馬の配置が定められ、その際高松に50余頭が常置され、能登の宿場として発展し、旅人から通行銭を徴したところであり、高松町の南端にある。

（3） 天然記念物

○ハマナス（旧七塚町、旧高松町）

ハマナス（ハマナシ）は氷河時代から生き残った寒地性のバラ科の落葉低木である。北海道の海岸に広く分布し、その最も顕著な群生地は七塚海岸である。

○シロチドリ

シロチドリは、一般に漂鳥とせられるものであるが、旧高松町の通称フタナカから北出の砂丘に見られる。留鳥となって砂丘にくぼみをつくり営巣して、雛を育てて繁

殖している。このように留鳥として営巣して繁殖している所は、日本でも数える程しかなく、高松の生息地は、貴重な地域である。

5 かほく市消防本部沿革史

第1章 消防常備化までの消防体制

- 消防が広域行政の一環として常備化されるまでの間、各町が非常備消防（消防団）として、消防行政を処理（昭和42年（1967年）7月1日から昭和47年（1972年）11月1日河北郡救急業務事業組合が救急業務を実施するまでの間、既に救急業務を実施している津幡町消防本部に対して、河北郡内灘町、宇ノ気町、七塚町及び高松町の管内に発生した救急業務を委託していた。）してきたところであるが、昭和47年11月石川県能登海浜有料道路（のちに能登有料道路と改称された。）の一部が開通し供用（供用区間 羽咋郡押水町今浜IC～河北郡七塚町白尾IC間）することにより、この道路及び一般道路に発生した救急業務並びに急病等の救急業務を処理するため、河北郡内灘町、宇ノ気町、七塚町及び高松町の4町で組織する組合立の救急隊設置の気運が高まり、河北郡救急業務事業組合を設立（昭和47年10月17日付石川県指令地収第1017号をもって設立許可された。）し、組合事務所所在地を七塚町字浜北ハ6番地 七塚町役場内、組合を組織する地方公共団体を河北郡内灘町、宇ノ気町、七塚町及び高松町とし、救急業務を共同で処理することとし、救急車（2B型）1台を石川県から譲与され、職員6名をもって同年11月1日救急業務を開始した。
- 昭和47年10月20日初代組合長に七塚町長 表秋夫氏が就任した。これにより消防行政は、警防・予防等の業務は各町の消防団が、救急業務については組合で実施することになった。
- 昭和49年（1974年）9月組合構成町の内灘町が単独で常備消防を発足させ業務を開始したことにもない、石川県から当組合に対して救急車（2B型）1台の譲与を受け、これを内灘町消防本部へ配置し、同町管内に発生した救急業務の処理を担当させた。
- 時代の推移とともに広域常備消防設置の気運が高まり、昭和51年（1976年）8月河北郡宇ノ気町、七塚町及び高松町の3町で組織する広域常備消防設置が、当該関係町で機関決定され、高松町役場内に広域消防設立準備室（仮称）を設置し、高松町助役を準備室責任者、宇ノ気町助役及び七塚町助役は、準備室委員とし、関係3町役場職員3名（兼務）をもって準備室の事務処理に当たらせた。

第2章 消防常備の組織化、強化の推移

- 河北郡救急業務事業組合規約の一部変更が、昭和52年（1977年）3月31日付石川県指令地収第153号をもって許可され、同日付をもって河北郡内灘町を組合を組織する地方公共団体から分離し、同年4月1日組合を組織する地方公共団体を河北郡宇ノ気町、七塚町及び高松町とし、組合の名称を『河北広域消防事務組合』と改称、共同で処理する事務を組合構成町の常備消防に関する事務（非常備消防に関する事務を除く。）及び森林法（昭和26年法律第249号）第21条に基づく森林火入れ許可に関する事務とするとともに、組合事務所所在地を河北郡七塚町字浜北ハ6番地 七塚町役場内とし、消防本部（七塚町役場内、消防吏員35名）のみの設置をもって発足し、消防事務及び救急業務を開始した。
- 昭和52年4月1日第2代組合長に宇ノ気町長 中井忠則氏が就任し、また、初代消防長に猪谷幸吉氏が就任した。
- 昭和52年4月8日付自治省告示第73号をもって、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令（昭和46年政令第170号）本則の規定に基づき、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村として、河北郡宇ノ気町、七塚町及び高松町が指定を受けた。

なお、この指定は、昭和53年（1978年）4月1日から効力を生じた。
- 昭和52年4月1日河北広域消防事務組合長は、消防本部・消防署庁舎敷地（地番 河北郡宇ノ気町字内日角3丁目1番地、地目 宅地、面積 2,486.57㎡）について宇ノ気町長と、高松分署庁舎敷地（地番 河北郡高松町字高松オ20番1・オ21番1・オ21番3、地目 畑、面積 1,073㎡）については、高松町長とそれぞれ無償貸与契約を締結した。
- 昭和52年4月25日消防本部・消防署庁舎（鉄筋コンクリート造り2階建、建築延面積 681.94㎡、設備 電気・給排水・冷暖房・放送・警報設備）及び高松分署庁舎（鉄筋コンクリート造り一部2階建、建築延面積314.25㎡、設備 電気・給排水・冷暖房・放送設備）の建設に着工、同年8月31日新築落成するとともに消防施設の整備（消防ポンプ自動車2台、消防用無線電話装置等通信施設の新設及び移転）が完了した。
- 昭和52年9月1日組合事務所及び消防本部の移転を行うとともに常備消防の組織も1消防本部、1消防署、1分署とし、消防本部及び消防署の所在地を河北郡宇

ノ気町字内日角3丁目1番地とした。

配置消防力は、普通型消防ポンプ自動車（BD-I型）1台、救急自動車（2B型）1台、指令車（ジープ型）1台、予防査察車（ライトバン）1台、計4台、消防吏員23名（消防本部職員6名、消防署職員17名）を配置し、管轄区域を組合構成町全域とした。

また、高松分署の所在地を河北郡高松町字高松オ21の1番地とし、普通型消防ポンプ自動車（BD-I型）1台、消防吏員12名を配置し、管轄区域を河北郡高松町全域及び七塚町の一部地域（七塚町字木津、字松浜、字遠塚の一部）とした。

消防の用に供する車輛5台、消防吏員35名の必要最小限の装備、人員をもって開署し、本格的な消防・防災・救急業務を開始した。

- 通信業務の省力化、迅速化を図るため、救急消防指令装置（C型）の設置工事を進めてきたところ、昭和52年11月14日工事が完了した。
- 昭和53年2月23日付石川県指令地収第110号をもって、河北広域消防事務組合規約の一部変更が許可され、組合事務所の所在地を河北郡宇ノ気町字内日角3丁目1番地 河北広域消防事務組合消防本部内とした。
- 昭和53年3月31日消防本部敷地内において、建設を進めていた消防救助訓練塔（鉄骨造6階建、高さ17m、面積12.6㎡、補助塔 ビデ足場1式）が完成した。
- 昭和53年4月1日消防力の基準及び消防施設整備計画等により、消防吏員3名の増員を行った。（消防吏員数38名となった。）
- 昭和53年9月29日財団法人日本消防協会から救急自動車（2B型）1台（財団法人日本船舶振興会の補助事業）の寄贈を受け、高松分署に配置した。

これにより消防本部・消防署配置車輛は、普通型消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台、予防査察車1台、計4台、消防吏員26名（消防本部職員6名、消防署職員20名）、高松分署配置車輛は、普通型消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、計2台、消防吏員12名となった。

- 昭和53年11月1日消防訓練用地を先行取得した。（地番 河北郡宇ノ気町字内日角3丁目17番地、地目 宅地、面積1,787.59㎡）
- 昭和54年（1979年）4月1日消防力の基準及び消防施設整備計画等に基づく増員及び退職職員の補充のため、消防吏員3名及び事務職員1名、計4名の職員を採用した。（消防吏員40名、事務職員1名、計41名となった。）

- 昭和54年8月8日消防訓練用地周辺のフェンス工事が完成した。
- 昭和54年10月25日水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1台を購入し、消防署に配置した。これにより消防本部・消防署配置車両は、消防ポンプ自動車2台（普通型1台、水槽付1台）、救急自動車1台、指令車1台、予防査察車1台、計5台、消防職員27名（消防吏員26名、事務職員1名）となり、高松分署の職員数は14名となった。
- 昭和54年12月5日高松分署配置の消防用車両が、緊急出動時において国道の交通事故防止のため、消防緊急出動標識灯（河北郡高松町字高松ヤ42番地及び河北郡高松町字高松オ23の1番地）を設置した。
- 昭和55年（1980年）12月2日石川県共済農業共同組合連合会から石川県を通じて救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け、消防署に配置した。（昭和47年石川県から譲与された救急自動車を昭和55年12月廃車した。）
- 昭和56年（1981年）2月5日消防訓練用地拡張のため、用地（河北郡宇ノ気町字内日角3丁目15の1番地 同16番地、地目 畑、面積15の1番地 39㎡、16番地 737㎡、計 776㎡）を先行取得した。なお、この用地整備工事及びフェンス工事が昭和56年6月13日完成した。
- 昭和56年2月19日消防団員が災害時に迅速に出動し、的確な情報を得るため、組合構成町の消防用サイレン及び消防団員を個別に呼び出すことを目的とした、無線サイレン吹鳴制御装置（親局1局＝消防本部に設置、子局6局＝高松町3局・七塚町3局設置）及び無線個別呼出装置（親局1局＝消防本部に設置、子局17局＝宇ノ気町消防団に設置）が完成し、消防本部において無線固定業務を開始した。
- 昭和56年4月1日消防力の基準及び消防施設整備計画等により、消防吏員3名の増員を行った。（消防吏員43名、事務職員1名、計44名となった。）
- 懸案であった消防本部・消防署庁舎増築（鉄筋コンクリート造り2階建建築延面積 649.62㎡、設備 電気（高圧受電・非常発電）、冷暖房・自動火災報知・放送・給排水設備）工事及び高松分署車庫増築（鉄骨カラー鉄板葺平屋建、建築面積 34.8㎡）工事が、昭和56年7月10日ともに着工し、高松分署車庫増築工事は同年9月30日に、消防本部・消防署庁舎増築工事は、昭和57年（1982年）2月20日それぞれ竣工した。これにより消防本部・消防署庁舎は、1階 659.13㎡、2階 672.43㎡、計 1,331.56㎡となり、高松分署庁舎は、1階 281.55㎡、

2階 67.50㎡、計 349.05㎡となった。

- 昭和56年12月8日社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）「火災保険号」1台の寄贈を受け、高松分署に配置した。これにより現有消防力は、消防本部・消防署配置車輛 消防ポンプ自動車2台（普通型1台、水槽付1台）、救急自動車1台、指令車1台、予防査察車1台、計5台、高松分署配置車輛 消防ポンプ自動車2台（普通型1台、水槽付1台）、救急自動車1台、計3台、合計8台となった。
- 昭和57年3月1日ユーザック電子工業株式会社から予防査察車（ライトバン）1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。（昭和52年度に購入した予防査察車を昭和57年3月廃車した。）
- 昭和59年1月1日第2代消防長に高井政男氏が就任した。
- 昭和60年（1985年）4月1日退職職員の補充及び消防力の増強に伴い、消防吏員3名の採用し、消防吏員45名、事務職員1名、計46名（消防本部職員6名、消防署職員25名、高松分署職員15名）となった。
- 冬季間消防用車輛を風雪から保護し、盗難防止を図るため、高松分署庁舎車庫にオーバースライダー等の取付工事を施工していたところ、昭和61年（1986年）12月4日竣工した。
- 昭和62年（1987年）3月12日社団法人日本損害保険協会から救急自動車（2B型＝4WD）1台の寄贈を受け、高松分署に配置した。
（昭和53年度に財団法人日本消防協会から寄贈された救急自動車を昭和62年3月廃車した。）
- 昭和62年5月14日第3代組合長に高松町長 長柄 朝氏が就任した。
- 昭和62年（1987年）8月6日消防施設整備事業資金として寄附採納し、救急自動車（2B型＝4WD）1台を購入、12月10日消防署に配置した。
- 冬季間消防用車輛を風雪から保護し、盗難防止を図るため、消防本部署庁舎車庫にオーバースライダー等の取付工事を施工していたところ、昭和62年（1987年）12月11日竣工した。
- 平成元年4月1日退職職員の補充及び消防力の増強を図る為消防吏員5名の採用し、消防吏員48名事務員1名計49名（消防本部7名、消防署職員26名、高松分署16名）となった。

- 平成元年4月1日第3代消防長に西田与一氏が就任した。
- 同年4月30日第4代組合長に宇ノ気町長 宮本一雄氏が就任した。
- 平成3年(1991)2月4日救助工作車Ⅱ型(日野クルージング・レンジャー)1台を購入し消防署に配置。
- 平成3年(1991)7月1日財団法人日本防火協会より(宝くじ号トヨタハイエース)1台の寄贈を受け防火広報車として消防署に配置。
- これにより消防本部消防署配置車両は、消防車2台(普通型1台・水槽付1台)救急車1台・救助工作車1台・指令車1台・予防査察車1台・防火広報車1台計7台となる。高松分署配置車両は、消防車2台(普通型1台・水槽付1台)救急車1台機材車(ワゴン)1台計4台となる。
- 平成3年(1991)10月16日消防訓練用地拡張の為、用地(河北郡宇ノ気町字内日角3丁目18番地826㎡)を取得した。
- 平成4年(1992)1月30日現有の消防ポンプ自動車(河北1(消防署配置)、高松1(高松分署配置))が老朽化したため、最新鋭消防ポンプ自動車(CD-I型)2台を購入し消防署及び高松分署に配置した。
- 平成4年(1992)3月25日株式会社PFUから予防査察車(ライトバン)1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。(同社から昭和57年の寄贈に続き2台目となった。)
- 平成4年(1992年)4月1日退職職員の補充及び消防力の増強に伴い、消防吏員3名の採用し、消防吏員48名、事務職員1名、計49名(消防本部職員7名、消防署職員27名、高松分署職員15名)となった。
- 平成4年(1992)8月6日現有の消防指令車(河北指令1(消防本部配置))が老朽化したため、最新鋭消防指令車1台を購入し消防本部に配置した。
(昭和52年度に購入した指令車を平成4年6月廃車した。)
- 平成4年(1992)8月7日社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車「火災保険号 河北2」1台の寄贈を受け、消防署に配置した。
(昭和54年度に購入した水槽付消防ポンプ自動車を平成4年8月廃車した。)
- 平成5年(1993年)4月1日消防力の増強に伴い、消防吏員4名を採用し、消防吏員52名、事務職員1名、計53名(消防本部職員8名、消防署職員29名、高松分署職員16名)となった。

- 平成6年（1994年）4月1日消防力の増強に伴い、消防吏員3名を採用し、消防吏員55名、事務職員1名、計56名（消防本部職員8名、消防署職員32名、高松分署職員16名）となった。
- 平成7年（1995）1月18日水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1台を購入し、高松分署に配置した。
- 平成7年（1995）3月8日社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車「河北救急1」1台の寄贈を受け、消防署に配置し救急救命士業務の運用を開始した。
- 平成8年（1996）7月4日消防用地拡張の為、用地（河北郡宇ノ気町宇内日角3丁目20番地482㎡）を取得した。
- 平成9年（1997）3月5日消防防災設備整備事業により購入した、消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）、消防団緊急通報伝達システム、災害弱者緊急通報システムの各装置が完成し「もっと迅速に、もっと安全に」をモットーに業務を開始した。（昭和52年11月に配置した救急消防指令装置（C型）は、平成9年3月に廃棄処分した。）
- 平成9年4月1日第4代消防長に松居武敏氏が就任した。
- 平成10年（1998年）4月1日消防力の増強に伴い、消防吏員2名を採用し消防吏員55名、事務職員1名、計56名（消防本部職員6名、消防署職員32名高松分署職員18名）となった。
- 平成12年（2000年）4月1日退職職員の補充及び消防力の増強に伴い、消防吏員3名を採用し、消防吏員55名、事務職員1名、計56名（消防本部職員6名消防署職員32名高松分署職員18名）となった。
- 平成13年（2001年）2月23日社団法人日本自動車工業会から高規格救急自動車「高松救急1」1台の寄贈を受け高松分署に配置した。
- 平成13年（2001年）4月1日石川県消防学校教官1名を派遣した。（1年間）
- 平成14年（2002年）3月29日PFUGグループ6社から予防査察車（ハイブリッドカー）の寄贈を受け消防本部に配置した。（同社からは昭和57年、平成4年の寄贈に続き3台目となった。）
- 平成14年（2002年）9月18日国道159号線の拡張工事により消防訓練塔のグラウンド側への移転工事が完了する。
- 平成15年（2003年）4月1日石川県消防防災航空隊1名を派遣した。（3年間）

- 平成16年（2004年）3月1日構成3町が合併し、かほく市消防本部と名称を改める。これに伴い、組合消防から市町村消防となる。前身の河北広域消防事務組合から引き続き、初代消防長に松居武敏氏が就任する。
- 平成17年（2005年）4月1日第2代消防長に岡本文嘉氏が就任した。
- 平成17年（2005年）4月1日消防力の増強に伴い、消防吏員2名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成18年（2006年）1月24日CD-I型消防ポンプ自動車（水槽付）1台を購入し、消防署に配置した。
- 平成18年（2006年）4月1日高松救急1を緊急消防援助隊登録車両とした。
- 平成19年（2007年）4月1日第3代消防長に高橋勲氏が就任した。
- 平成19年（2007年）4月1日消防力の増強に伴い、消防吏員3名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成19年（2007年）4月1日かほく救助1を緊急消防援助隊登録車両とした。
- 平成20年（2008年）2月27日二市二町消防通信指令事務協議会の発足により金沢市・かほく市・津幡町・内灘町の指令業務が金沢市指令センターで一括受信（試行）となる。
- 平成20年（2008年）4月1日金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防指令センターにおいて金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令業務の共同運用を開始する。
- 平成20年（2008年）4月1日消防吏員3名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成20年（2008年）12月15日老朽化した救助工作車（II型）かほく救助1（緊急消防援助隊登録車両）を、緊急消防援助隊設備整備費補助金により更新整備し、消防署に配置した。
- 平成21年（2009年）4月1日第4代消防長に釜井泰廣氏が就任した。
- 平成21年（2009年）4月1日消防吏員3名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成21年（2009年）12月10日老朽化した高規格救急自動車（災害対応特殊救急自動車）高松救急1（緊急消防援助隊登録車両）を、緊急消防援助隊設備整備費補助金により更新整備し、高松分署に配置した。
- 平成22年（2010年）1月15日CD-I型消防ポンプ自動車（CAFS消火装置

電動式ホースカー搭載) 1台を購入し、高松分署に配置した。

- 平成22年(2010年)4月1日消防吏員1名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成23年(2011年)3月東日本大震災による被災地救援のため、石川県緊急消防援助隊として救助部隊5名を岩手県に派遣する。5次隊まで出動し、延べ25名の隊員を現地へ派遣した。
- 平成23年(2011年)3月25日地域活性化・きめ細かな交付金対象事業によりかほく市消防本部グラウンド整備工事が完了した。
- 平成23年(2011年)3月31日老朽化した資材運搬車(かほく機材1)を地域活性化・きめ細かな交付金対象事業により更新整備し消防署に配置した。
- 平成23年(2011年)4月1日消防吏員2名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成24年(2012年)4月1日第5代消防長に奥野司郎氏が就任した。
- 平成24年(2012年)4月1日消防吏員3名を採用し、消防吏員53名、事務職員2名、計55名となった。
- 平成24年(2012年)4月1日石川県消防防災航空隊1名を派遣した(3年間)
- 平成25年(2013年)3月29日Ⅱ型消防ポンプ自動車(水槽車)1台を購入し、高松分署に配置した。
- 平成25年(2013年)4月1日消防吏員3名を採用し、消防吏員55名、事務職員1名、計56名となった。
- 平成26年(2014年)2月16日老朽化した高規格救急自動車(かほく救急1)を更新整備し、消防署に配置する。
- 平成26年(2014年)3月28日消防救急デジタル無線鉄塔(30m級)を竣工した。(併せて通信室、機械室の改修、高圧受電設備更新を実施した)
- 平成26年(2014年)4月1日消防吏員2名を採用し、消防吏員56名、事務職員1名、計57名となった。
- 平成26年(2014年)4月1日緊急消防援助隊登録車両をかほく救助1から高松2へ変更した。
- 平成26年11月27日公益財団法人日本消防協会から防災活動車(かほく警防1)の寄贈を受け、消防署に配置した。
- 平成27年(2015年)3月27日老朽化した訓練塔を解体、高さ17m鉄骨造3階建

ての消防救助技術訓練塔を新築した。

- 平成27年（2015年）4月1日第6代消防長に南貞光氏が就任した。
- 平成27年（2015年）4月1日消防吏員4名を採用し、消防吏員55名、事務職員1名、計56名となった。
- 平成27年（2015年）4月1日石川県消防学校教官1名を派遣した。（2年間）
- 平成28年（2016年）3月1日市内各所における雨量を監視できる広域雨量観測システムを整備し、運用開始する。
- 平成28年（2016年）4月1日消防吏員2名を採用し、消防吏員56名、事務職員1名、計57名となった。
- 平成28年（2016年）4月1日消防救急デジタル無線の運用を開始する。
- 平成28年（2016年）6月9日かほく1の機能強化を実施した。（平成28年（2016年）7月29日かほく2老朽化に伴い廃車とした。）
- 平成29年（2017年）4月1日消防吏員2名を採用し、消防吏員56名、事務職員1名、計57名となった。
- 平成30年（2018年）2月1日高松分署の耐震補強工事が完了した。
- 平成30年（2018年）3月15日老朽化した高規格救急自動車（高松救急1）を更新整備し、高松分署に配置する。
- 平成30年（2018年）4月1日消防吏員3名を採用し、消防吏員58名、事務職員1名、計59名となった。
- 平成30年（2018年）4月1日石川県消防防災航空隊1名を派遣した。（3年間）
- 平成31年（2019年）4月1日第7代消防長に澤野 秀紀氏が就任した。
- 平成31年（2019年）4月1日消防吏員4名（うち女性1名）を採用し、消防吏員57名、事務職員1名、計58名となった。
- 令和元年（2019年）9月26日、女性消防吏員採用に伴い、消防長室を女性用仮眠室、団長室を消防長室に改修する。
- 令和2年（2020年）2月27日、老朽化した指揮車（かほく指揮1）を更新整備し消防署に配置する。
- 令和2年（2020年）4月1日消防吏員2名を採用し、消防吏員59名、事務職員1名計60名となった。
- 令和3年（2021年）2月2日、老朽化した消防ポンプ自動車（かほく1）を更新整備し、消防署に配置する。

- 令和3年（2021年）4月1日消防吏員1名を採用し、消防吏員57名、事務職員1名計58名となった。
- 令和3年（2021年）4月1日石川県消防学校教官1名を派遣した。（2年間）

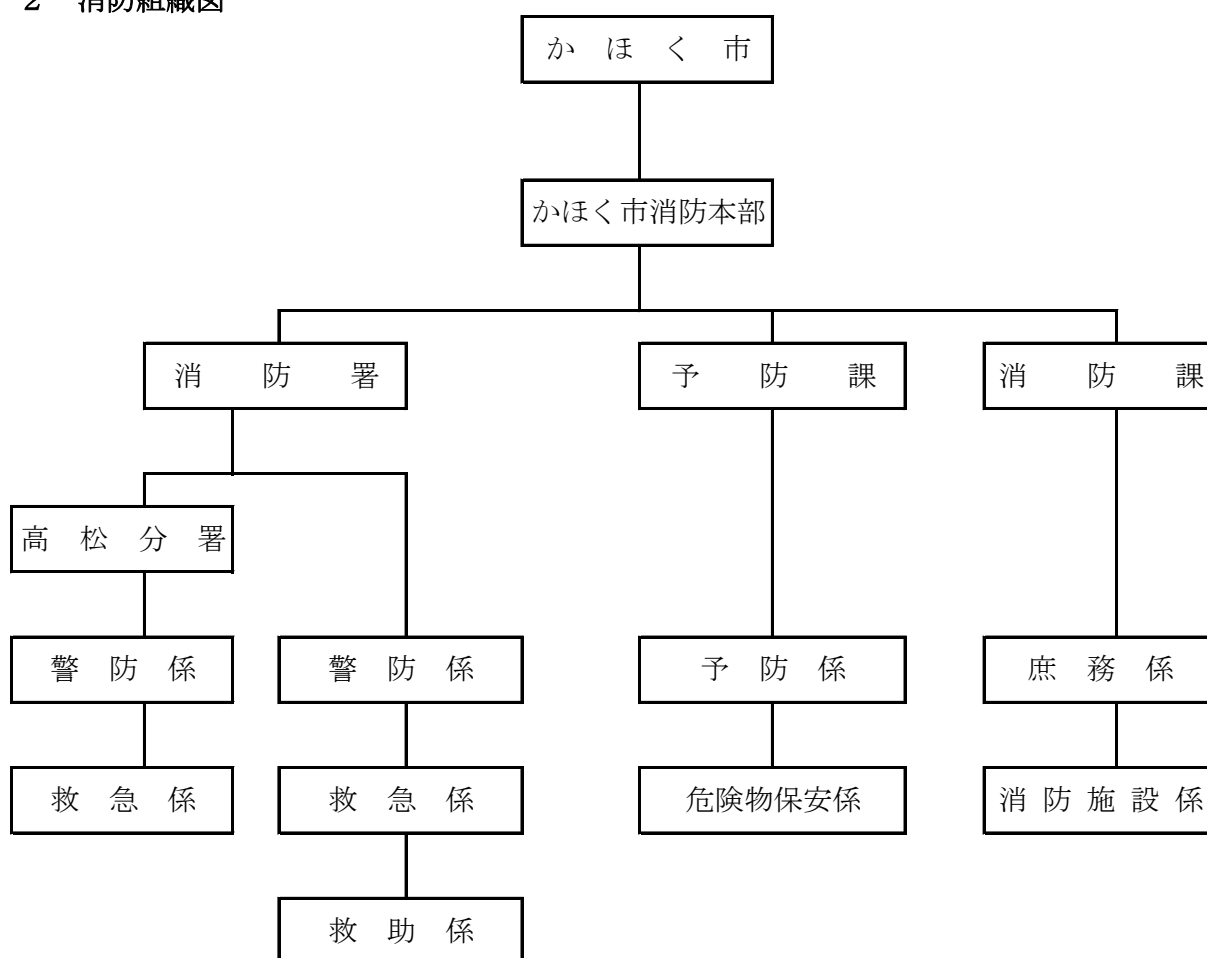
総務関係

常備消防

1 消防本部・消防署・分署の位置

名称	所在地
かほく市消防本部	かほく市内日角3丁目1番地
かほく市消防本部消防署	同上
かほく市消防本部高松分署	かほく市高松オ2 1番地1

2 消防組織図



3 歴代組合長・消防長

組 合 長

表 秋 夫	七 塚 町 長	昭和47年10月20日～昭和52年3月31日
中 井 忠 則	宇ノ気町長	昭和52年4月1日～昭和62年4月29日
(長柄朝副組合長	職務代理)	昭和62年4月30日～昭和62年5月13日
長 柄 朝	高 松 町 長	昭和62年5月14日～平成元年4月29日
宮 本 一 雄	宇ノ気町長	平成元年4月30日～平成16年2月29日

消 防 長

猪 谷 幸 吉	昭和52年4月1日～昭和57年7月31日
中井忠則組合長	消防長事務取扱 昭和57年8月1日～昭和58年12月31日
高 井 政 男	昭和59年1月1日～平成元年3月31日
西 田 与 一	平成元年4月1日～平成9年3月31日
松 居 武 敏	平成9年4月1日～平成17年3月31日
岡 本 文 嘉	平成17年4月1日～平成19年3月31日
高 橋 勲	平成19年4月1日～平成21年3月31日
釜 井 泰 廣	平成21年4月1日～平成24年3月31日
奥 野 司 郎	平成24年4月1日～平成27年3月31日
南 貞 光	平成27年4月1日～平成31年3月31日
澤 野 秀 紀	平成31年4月1日～

4 財政状況

(1) 過去3ヵ年の当初予算の推移

(単位:千円)

摘要		年度別		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
市一般会計		15,290,000	16,750,000	15,740,000
消 防 費		493,995	501,283	575,350
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	411,429	421,908	457,296
	非 常 備 消 防 費	31,440	31,207	32,453
	消 防 施 設 費	33,142	27,490	25,255
	災 害 対 策 費	17,984	20,678	60,346

(2) 過去3ヵ年の決算額と構成の推移

(単位:千円)

摘要		年度別		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
一 般 会 計	市 決 算 額	15,782,173	17,255,126	23,345,465
	消 防 費 決 算 額	508,534	509,379	576,251
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	417,112	420,971	448,992
	非 常 備 消 防 費	29,991	31,719	27,131
	消 防 施 設 費	32,380	26,094	23,161
	災 害 対 策 費	29,051	30,595	76,967
人 件 費 の 構 成 比		77%	73%	65%
人 口 1 人 当 り の 消 防 費 (千 円)		14	14	16
1 世 帯 あ た り の 消 防 費 (千 円)		39	38	42

5 消防施設等

(1) 消防施設の状況

区 分		消 防 本 部 ・ 消 防 署	高 松 分 署
消 防 庁 舎 等 の 施 設	敷 地	6, 358. 16㎡	1, 073㎡
	消 防 庁 舎	鉄筋コンクリート造2階建 1F 659. 13 ㎡ 2F 672. 43 ㎡ 計 1, 331. 56 ㎡ 電気・給排水・冷暖房・放送・非常用 自家発電・自動火災報知設備・ 車庫(オーバースライダー付)	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造2階建 1F 326. 20 ㎡ 2F 67. 50 ㎡ 計 393. 70 ㎡ 電気・給排水・冷暖房・放送・ 非常用自家発電・車庫 (オーバースライダー付)
	消防救助技術 訓 練 塔	鉄骨造3階建 訓練塔 17m 補助塔(ヒデ足場組)	1基 1基
	ホース乾燥塔	鉄骨柱 高さ 12m	2基
	防 火 水 槽	40t級空地有蓋	1基
	気象観測装置	観測機器 (風向・風速・温度・湿度・雨量・気 圧) 発雷検出装置 (屋外アンテナ・受信機・屋内 表示器)	1基 1基
消 防 施 設 等	消防車両	消防ポンプ自動車 1台 (CD-I型A-2級) 指揮車 1台 救急自動車(高規格) 1台 (トヨタ・ハイメディック) 救助工作車(II型) 1台 防火広報車(軽四) 1台 広報車(ハイエース) 1台 防災活動車 1台 (スバル・フォレスター) 資機材搬送車 1台 (いすゞ・エルフ) 救助ボート搬送トレーラー 1台	消防ポンプ自動車 1台 (CD-I型A-2級) CAFS装置 水槽付消防ポンプ自動車 1台 (II型A-2級) 救急自動車(高規格) 1台 (トヨタ・ハイメディック) 広報車(軽四) 1台

区 分		消 防 本 部 ・ 消 防 署	高 松 分 署
消 防 施 設 等	通 信 施 設 ※金沢市・かほく 市・津幡町・内灘町 消防通信指令事務 協議会 (高機能消防指令 システム(Ⅲ型))	【高機能消防指令システム 署所装置】 署所端末装置 1式 出動車両表示板 1式 指令地図表示用端末 1式 指令地図表示盤 2式 管轄車両表示盤 3式 車両運用表示用端末 (職員参照web) 1式 車載端末装置 7式 画像伝送用装置 2式 遠隔型画像伝送装置 1式	【高機能消防指令システム 署所装置】 署所端末装置 1式 出動車両表示板 1式 指令地図表示用端末 1式 指令地図表示盤 1式 管轄車両表示盤 1式 車両運用表示用端末 (職員参照web) 1式 車載端末装置 4式
	そ の 他	消防用ポンプ等 1式 ミニ消火ポンプ・組立水槽・ ホース・吸管・管鎗・その他 背負式ポンプ 8台	消火ポンプ(40mm)・組立水 1式 槽ホース・吸管・管鎗・ その他 消火ポンプ(65mm)・ 1式 吸管・ホース・管鎗 背負式ポンプ 8台 チェーンソー 1台
	消 防 救 急 用 機 器	エンジンカッター 1台 発動発電機(2400W) 2台 携帯発電機(900W) 2台 投光機(500W) 1台 投光機(400W) 4台 投光機(300W) 2台 コードリール(50m) 4本 コードリール(30m) 2本 蘇生訓練用具 高度シミュレータ レサシアンマネキン 1台 CPR訓練用マネキン 大人用 8体 乳児用 2体	エンジンカッター 1台 投光機(500W) 4台 コードリール(50m) 1本 携帯発電機(12V8A) 投光機(300W) 1台 コードリール(30m) 1本 蘇生訓練用具 高度救急処置 シミュレータセーブマン 1体 高度シミュレータ レサシアンマネキン 1体 気道管理トレーナー 1体 IVトレーニング用アーム 1個 CPR訓練用マネキン 大人用 7体 小児用 2体 乳児用 2体 警防訓練用マネキン 1体

(2) 消防用車両等の状況

区分	車名	車種	型式	年式	検定能力	台数	購入年月日	備考
消防ポンプ自動車	かほく1	日野 デュトロ	2KG-XZU685M	R2	A-2	1台	R3.2.2	CD-1型水槽付
	高松1	日野 デュトロ	BDG-XZU878M	H22	A-2	1台	H22.1.15	CD-1型水槽付
	高松2	日野 レンジャー	SDGGX7JGAA改	H25	A-2	1台	H25.3.29	水-II型 緊急消防援助隊登録車両
救急車	かほく救急1	トヨタ ハイメディック	CBF-TRH226S	H25		1台	H25.12.16	
	高松救急1	トヨタ ハイメディック	CBF-TRH226S	H29		1台	H30.3.15	緊急消防援助隊登録車両
救助工作車	かほく救助1	日野 レンジャー	BDG-GX7JGWA改	H20		1台	H20.12.15	II型
その他	かほく指揮1	トヨタ ハイエースバン	CBF-TRH226K	R1		1台	R2.2.27	
	高松広報1	スバル サンバー	LE-TV2	H20		1台	H20.1.15	小型動力ポンプ付軽消防自動車 (社)日本損害保険協会寄贈
	かほく警防1	スバル フォレスター	DBA-SJ5	H26		1台	H26.12.12	防災活動車 日本消防協会寄贈
	かほく広報1	ダイハツ ハイゼットカーゴ	GBD-SB30V	H20		1台	H20.2.29	防災活動車 (財)日本消防協会寄贈
	かほく広報2	トヨタ ハイエースワゴン	CBA-TRH219W	H26		1台	H26.7.8	防災活動車
	かほく機材1	いすゞ ELF	BKG-NHS85A	H23		1台	H23.3.31	資材運搬車
	ボート トレーラー	SOREX BOAT	15FW-GW	H26		1台	H26.10.1	救助ボート搬送車

6 消防職員の状況

(1) 職員の配置状況

(4月1日現在)

年 齢	階 級	(消防司令長 消防司令長)	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	のそ 職の 員他	計
平成 30 年度	消防本部	1							1
	消 防 課		3	3	3	1	3	1	14
	予 防 課		2	2	1	2			7
	消 防 署		5	4	2	4	3		18
	高松分署		5	1	4	3	6		19
	計	1	15	10	10	10	12	1	59
令和 元年 度	消防本部	1							1
	消 防 課		3	2	1	3	5	1	15
	予 防 課		2	1	1	2	1		7
	消 防 署		6	2	2	2	4		16
	高松分署		4	3	3	3	6		19
	計	1	15	8	7	10	16	1	58
令和 2 年度	消防本部	1							1
	消 防 課		3	2	2	1	4	1	13
	予 防 課		2	2	1	2	1		8
	消 防 署		5	2	3	3	6		19
	高松分署		5	2	3	2	7		19
	計	1	15	8	9	8	18	1	60

(2)階級別年齢別職員数

(4月1日現在)

階級 年齢		（消防司令長）	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	のそ 職の 員他	計	（平均 年齢）
平成 30 年度	18歳～20歳						3		3	19.3
	21歳～25歳						9		9	22
	26歳～30歳					9			9	27.3
	31歳～35歳				6	1			7	32.3
	36歳～40歳			2	3				5	37.8
	41歳～45歳			8					8	42.8
	46歳～50歳		5	1					6	47.8
	51歳～55歳		3						3	52
	56歳以上	1	7					1	9	58.1
	計	1	15	11	9	10	12	1	59	
令和 元年 年度	18歳～20歳						4		4	18.3
	21歳～25歳						12		12	22.5
	26歳～30歳					8			8	28
	31歳～35歳				6	2			8	33
	36歳～40歳			4	1				5	38.8
	41歳～45歳		3	4					7	43.4
	46歳～50歳		7						7	48.4
	51歳～55歳		3						3	53
	56歳以上	1	2					1	4	58
	計	1	15	8	7	10	16	1	58	
令和 2 年度	18歳～20歳						4		4	19.3
	21歳～25歳						14		14	23.3
	26歳～30歳					6			6	28.3
	31歳～35歳				7	2			9	33.1
	36歳～40歳			3	2				5	38.8
	41歳～45歳		2	5					7	43.7
	46歳～50歳		7						7	48.7
	51歳～55歳		3						3	52.3
	56歳以上	1	3					1	5	58.4
	計	1	15	8	9	8	18	1	60	

(3) 在職年数別消防吏員数

(4月1日現在)

年 項目	平成30年	令和元年	令和2年
5年未満	14	15	13
5年以上 10年未満	9	10	13
10年以上 15年未満	7	9	8
15年以上 20年未満	3	3	2
20年以上 25年未満	5	2	5
25年以上 30年未満	10	9	9
30年以上	10	9	9
計	58	57	59

(4) 消防職員の教養

(3月31日現在)

区分 年度	消防大学校						消防学校														計				
	上級幹部科	幹部科	警防科	救急科	予防科	調査科	救急救命研修所	初任科		幹部教育		警防		予防・火災調査		救急		救助	無線通信科	ヘルニア対策職員研修		操法科			
								初級	中級	初級	中級	警防科	特殊災害科	予防科	危険物科	火災調査科	I課程						II課程	標準課程・救急科	気管挿管
昭和52年								20							2			1					20		43
昭和53年			1					2	3	2						3							2		5 18
昭和54年	1							3						1	1	7							2		7 22
昭和55年									2						2	8									3 15
昭和56年								3	1						1	9							3		17
昭和57年	1										1		1		2	2									1 8
昭和58年	1								3		2			2	2	3									5 18
昭和59年										1			2	2	2	2									5 14
昭和60年								3	2		2		1	1	1	2						3		6 21	
昭和61年									1		2		2	2	2	2									5 16
昭和62年	1									1	1		2	2	2	2									5 16
昭和63年											1		1	1	1	1					1				6 12
平成元年	1							4	1		2		1	1	1	2					1		6		5 25
平成2年			1						2		2		2		2	2					2		2		5 20
平成3年	1									1	2		1	1		2	1				2				5 16
平成4年				1				3	2		2		2			2	4				2		3		5 26
平成5年							1	4	2							2					2		4		3 18
平成6年	1						1	3		2						3	4				2				3 19
平成7年							1		1								2	1			1				3 9
平成8年									2								3	2			2				3 12
平成9年				1			1			3						6	2				2				4 19
平成10年							1	2	3							6	1				3				2 18
平成11年							1		3					3		3					3				5 18
平成12年							1	3		3				1							3		3		5 19
平成13年					1		1		2		2		2	2	2			2				1			4 19
平成14年				1			1		2					2				1			3	2	1		13
平成15年									2	3		2	1	2							2				12
平成16年								2					2	1							1				6
平成17年			1					2	2		2	2	2	2	2			2	3		1				21
平成18年				1			1		2	3				2						3	1				13
平成19年			1				1	3	1		1		1		1			2	2						13
平成20年		1					1	3				1		1				1	2	1					11
平成21年							1	3	2		2		2		2			3	1						16
平成22年							1	1	2					2				3			2				11
平成23年							1	2		1	1		1	1				3					1		11
平成24年							1	3	1			1		1				3	1	1					12
平成25年		1						3	1		1		1		1			3	1		1				13
平成26年							1	2				1		1				2			1				8
平成27年							4	1			1		1		1			2	1		1				12
平成28年		1						2	1			1		1				2			1				9
平成29年							1	2			1		1		1			2			1		1		10
平成30年							1	3				1		1				2			2				10
令和元年							1	4	1		1		1		1			2			1				12
令和2年							1	2										3			2				8
計	7	3	4	1	3	1	21	89	48	19	32	7	32	31	40	52	29	44	14	40	11	48	3	100	679

7 消防本部・署・分署の出動状況

(1月1日～12月31日)

区分	種別	火	救	救	風	演	広	警	特	捜	予	そ	計	
		災	う 野 火 災 ち	急	助	水 害 の 災 害	習 訓 練	報 ・ 指 導	防 調 査	別 警 戒	索	防 査 察		の 他
平成 30 年	出動回数	7		1158	16	15	78	135	131	142		73	235	1990
	出動延人数	186		3477	169	74	374	468	397	436		248	959	6788
令和 元 年	出動回数	9		1062	10		55	139	93	134		91	157	1750
	出動延人数	145		3228	119		271	559	285	425		306	157	5495
令和 2 年	出動回数	6	1	1000	7	1	76	61	121	89	1	39	42	1444
	出動延人数	172	48	3092	72	4	400	205	379	273	3	141	135	4924

8 消防力の基準と現有消防力

(1) 消防施設関係

(令和3年3月31日現在)

区 分		基 準 数	現 有 数	不 足 数	充 足 率 (%)
消 防 本 部 ・ 消 防 署 ・ 高 松 分 署	署 所 数	2	2	0	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	3	3	0	100
	化 学 消 防 車	0	0		
	救 急 自 動 車	2	2	0	100
	救 助 工 作 車 (省 令 条)	1	1	0	100
	そ の 他 車 両		4		
	消 防 無 線 電 話 装 置		27		
	消 防 団 緊 急 伝 達 シ ス テ ム		1		

(2) 人員の関係

(令和3年3月31日現在)

区 分		基 準 数 (人)	現 有 数 (人)	充 足 率 (%)
消 防 本 部 ・ 署 所 の 人 員	警 防 要 員 救 急 要 員	78	48	61.5
	予 防 要 員	1	2	200.0
	通 信 員	2	3	150.0
	そ の 他 の 職 員	2	5	250.0
	そ の 他 の 常 勤 職 員	1	1	100.0
	計	84	59	70.2

(3) 現有消防力の指数

(令和3年3月31日現在)

区 分		消防職員1人当たり		消防自動車1台当たり	
常 備	面 積	1.1	km ²	21.5	km ²
	人 口	624.1	人	11858.0	人
	世 帯 数	234.5	世帯	4455.0	世帯

(4) 消防水利

(3月31日現在)

区 分 年 別	基 準 適 合 消 火 栓	防火水槽(m ³)			そ の 他						
		100 以上	60 以上 100 未満	40 以上 60 未満	小 計	小 川 ・ 溝 等	海 ・ 湖	プ ー ル	豪 ・ 池	下 水 道	そ の 他
平成30年	855	10	31	146	11	3		6	2		
令和元年	859	10	31	146	11	3		6	2		
令和2年	890	9	31	147	11	3		6	2		

(5) 消火栓・防火水槽総数

(3月31日現在)

種 別 年 別	消 火 栓			防 火 水 槽		
	地上	地下	合 計	無 蓋	有 蓋	合 計
平成30年	105	1169	1274	9	206	215
平成元年	105	1173	1278	9	205	214
令和2年	104	1177	1281	9	204	213

9 消防クラブの現況

(令和3年4月1日現在)

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	指 導 者 数
少年消防クラブ	6	367	10
幼年消防クラブ	11	1574	20
女性防火クラブ	7	122	12
合 計	24	2063	42

10 気象状況

(1) 気象状況

(平成30年1月1日～令和2年12月31日)

30年月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温 ℃	最高	12.3	11.1	22.1	25.7	30.9	33.5	35.5	38.7	35.1	33.0	25.1	23.0	38.7
	最低	-5.5	-4.3	-1.6	2.5	6.1	12.2	20.6	16.6	14.5	7.5	3.3	-1.1	-5.5
	平均	2.4	2.4	7.6	13.0	17.4	21.5	27.4	27.3	22.1	17.1	12.0	6.7	14.7
湿度 %	最低	51.9	41.1	16.3	25.5	25.8	39.9	45.8	36.9	42.5	30.2	41.3	44.9	16.3
	平均	89.1	86.2	80.4	82.4	80.5	81.7	82.5	82.2	89.4	84.6	87.8	89.3	84.7
風速 m/s	最大	29.1	22.3	27.3	20.7	19.0	18.1	21.6	24.0	35.3	28.7	14.2	19.9	35.3
	平均	3.3	2.8	2.7	2.5	2.3	2.3	1.8	2.1	1.9	2.1	1.7	2.7	2.4
風向	最多	西南西	南南西	北北東	西南西	南西	東	南東	南西	東	南南西	北北東	南東	南南西
元年月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温 ℃	最高	12.7	17.3	22.7	24	30.4	32.5	35	37.5	34	30.4	22.9	18.3	37.5
	最低	-2.6	-2.5	-2	0.5	5.2	13.8	19.6	19.6	14.7	9.3	-0.2	-1.2	-2.6
	平均	3.5	4.5	7.4	11.1	18.1	21	25	27.5	23.9	18.0	11.2	7.5	14.9
湿度 %	最低	48.6	35	23	11.9	17.7	39.9	52.7	45.5	40.5	36.1	29.9	41.9	11.9
	平均	89.6	86.8	81.3	77.8	72.1	87.7	93.1	89.6	87.3	89.9	84.6	86.2	85.5
風速 m/s	最大	20.8	19.9	22.7	19.5	17.5	19.5	13.1	19.1	21.9	23.1	25.3	20.3	25.3
	平均	2.5	2.1	2.4	2.2	2	2	1.8	2.1	1.9	2.0	2.2	2.5	2.1
風向	最多	南南西	北北東	西南西	北	西南西	西南西	西南西	南南東	東	東	北北東	南南西	南南西
2年月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温 ℃	最高	15.8	15.5	22.5	20.4	26.8	31.7	32.1	36.1	36.2	26.7	25.8	14.1	36.2
	最低	-1.5	-4.9	-0.9	1.9	8.4	15.0	18.8	21.2	14.9	4.8	3.7	-1.9	-4.9
	平均	6.1	5.6	8.3	10.3	17.5	22.4	23.7	27.9	24.2	16.6	12.0	6.2	15.1
湿度 %	最低	50.8	34.7	10.2	31.6	29.9	39.9	61.3	49.1	37.5	41.9	42.5	40.2	10.2
	平均	89.8	87.3	81.8	81.0	84.5	86.9	95.6	88.5	86.5	84.7	85.4	90.5	86.9
風速 m/s	最大	27.2	20.6	23.8	16.7	16.7	16.7	15.6	18.5	19.9	18.6	21.2	21.4	27.2
	平均	2.4	2.7	2.7	2.7	2.3	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	2.1	2.7	2.3
風向	最多	南南西	南南西	南西	西南西	南西	東	西南西	南西	南南東	北東	南	南南西	南西

(2) 気象状況等の受信状況

(平成30年1月1日～12月31日)

種別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警 報	暴風			1					2				3	
	暴風雪	1											1	
	大雨						1	2	2				5	
	大雪	2	1										3	
	高潮								1				1	
	波浪	3	3	2						1	1		11	
	洪水							2					2	
	小計	6	4	3				1	4	6	1		1	26
注 意 報	風雪	6	5	1									2	14
	強風	5	7	6	5	1	2	3	2	4	6	2	10	53
	大雨					2	2	1	10	6	1			22
	大雪	7	3										1	11
	高潮	1		1			1	6	11	6	8		1	35
	波浪	8	8	7	2	3	1	2	2	5	3	2	8	51
	洪水						2	1	4	1	1			9
	着雪	6	3										1	10
	乾燥		1	7	7	6	4	2	4	1	3	2	1	38
	濃霧	3	1		3	2	1							10
	霜			6	4									10
	なだれ	3	3	3										9
	融雪	1	1	4										6
	低温	5	10	2					1					18
	着氷													
	雷	8	8	3	3	6	4	4	9	10	11	9	9	84
小計	53	50	40	24	20	17	19	43	33	33	15	33	380	
情 報	大雨					3	5	13	28	16	4			69
	記録的短時間大雨													
	雷と突風	3	2		3	13	13	5	32	10	14	3	6	104
	竜巻													
	高温													
	低気圧													
	台風							4	7	22	8		9	50
	高波	21	20	5				2			3			51
	大潮による高い潮位													
	強い冬型	2												2
	寒波と大雪													
	大雪	11	19										4	34
	融雪となだれ													
	黄砂													
小雨														
小計	37	41	5	3	16	18	24	67	48	29	3	19	310	
合計	96	95	48	27	36	35	44	114	87	63	18	53	716	

(2) 気象状況等の受信状況

(令和元年1月1日～12月31日)

種別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警 報	暴風										1		1	
	暴風雪													
	大雨								2				2	
	大雪													
	高潮													
	波浪	1		1						1	2	1	2	8
	洪水													
小計	1		1						2	1	3	1	2	11
注 意 報	風雪	6	1											7
	強風	9	5	8	4	3	3		3	2	7	8	7	59
	大雨						3	1	5		1			10
	大雪	1												1
	高潮		1	1			3	4	6		2	3	1	21
	波浪	11	4	5	3		2		1	2	5	7	9	49
	洪水						1	1	3					5
	着雪	8	1											9
	乾燥	1	2	9	8	6	1		1	2	1	12	6	49
	濃霧			1	1	1	4	2						9
	霜			5	7							3		15
	なだれ													
	融雪													
	低温		2											2
	着氷													
	雷	11	7	9	6	4	11	10	19	8	7	7	10	109
小計	47	23	38	29	14	28	18	38	14	23	40	33	345	
情 報	大雨						22	14	25	2	3	1		67
	記録的短時間大雨													
	雷と突風	9		20	2		3	8	22	2	4	7	5	82
	竜巻													
	高温					1								1
	低気圧													
	台風								12	8	13			33
	高波	3		6			8			1	5	7	9	39
	大潮による高い潮位													
	強い冬型													
	寒波と大雪													
	大雪	5												5
	融雪となだれ													
	黄砂				1									1
小雨														
小計	17		26	3	1	33	22	59	13	25	15	14	228	
合計	65	23	65	32	15	61	40	99	28	51	56	49	584	

(2) 気象状況等の受信状況

(令和2年1月1日～12月31日)

種別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警 報	暴風	1												1
	暴風雪													
	大雨							1					4	5
	大雪													
	高潮	1												1
	波浪	2	2	2										6
	洪水													
小計	4	2	2				1					4	13	
注 意 報	風雪		4										4	8
	強風	11	8	9	7	1	3	2		2	4	7	6	60
	大雨		2				3	6	3	3				17
	大雪												3	3
	高潮	3	1				1		5	2	3	1	2	18
	波浪	10	8	8	5	1		2		4	1	4	8	51
	洪水							2	1	1				4
	着雪		3										4	7
	乾燥		4	10	9	4	2		3	3	6	7		48
	濃霧		1				3	3				1		8
	霜			5	9						2	3		19
	なだれ													
	融雪													
	低温		3	1										4
着氷														
雷	10	7	7	8	5	10	9	12	13	4	8	9	102	
小計	34	41	40	38	14	22	21	24	28	20	31	36	349	
情 報	大雨						16	49	10	4				79
	記録的短時間大雨													
	雷と突風	4	4	11	6	4	7	10		7	5	16	15	89
	竜巻													
	高温													
	低気圧													
	台風													
	高波	13	15	11	4	15							21	79
	大潮による高い潮位													
	強い冬型												5	5
	寒波と大雪													
	大雪		6			6							17	29
	融雪となだれ													
	黄砂													
小雨														
小計	17	25	22	10	25	23	59	10	11	5	16	58	281	
合計	55	68	64	48	39	45	81	34	39	25	47	98	643	

11 「119番」受信状況

(平成30年1月1日～12月31日)

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災出動	1		4	16	2	2	9	9	1		3	2	49
救急出動	137	102	68	88	78	72	99	109	80	72	68	85	1058
救助出動	2	1	1	1	5			1	1		1		13
その他災害	1		2	1		2	1		8	3			18
災害・病院情報の問合せ	3		2	1	2	4	6	3	2	1	1	1	26
まちがい	6	3	9	6	3	3	7	7	2	7	4	5	62
いたずら	1		1	2			1	2		3	2	1	13
訓練試験	4	7	20	8	1	19	10	6	9	33	26	9	152
試験	10	13	12	8	3	7		17	13	6	7	14	110
その他	9	2	1	1	6	1	3	5	9	1	1	5	44
合計	174	128	120	132	100	110	136	159	125	126	113	122	1545

(令和元年1月1日～12月31日)

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災出動			6	1	3		1	1		1		1	14
救急出動	96	78	87	84	83	81	88	116	78	84	76	77	1028
救助出動			1	1			2		2				6
その他災害				1	1					2	2		6
災害・病院情報の問合せ	3	3	1	2	2	1		2	2	3	1	3	23
まちがい	5	3	9	5	9	7	3	8	3	4	10	7	73
いたずら		2	1	1				1		2	1	1	9
訓練試験	4	7	16	9	11	17	8	7	15	32	17	10	153
試験	8	36	18	4	4	23	30	9	11	7	5	11	166
その他	4	2	3	2	3	3	3	10	2	2	3		37
合計	120	131	142	110	116	132	135	154	113	137	115	110	1515

(令和2年1月1日～12月31日)

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災出動	1	3		2	1				2	2			10
救急出動	105	57	78	78	71	72	75	111	106	80	84	86	1003
救助出動		2	2						1		2		7
その他災害	1			1			6		1		2	1	12
災害・病院情報の問合せ	3				1	1	1	3	2	4	2	3	20
まちがい	18	6	4	5	9	3	1	5	6	6	10	5	78
いたずら	2	3			2			3	1				11
訓練試験	2	6	13	1	4	6	10	4	12	19	19	9	105
試験	12	22	13	11	2	12	18	10	12	6	5	10	133
その他	3	2	2	3		7	3	2	6	8	2	1	39
合計	147	101	112	101	90	101	114	138	149	125	126	115	1418

火災統計

1 火災の状況

(1月1日～12月31日)

区 分		年	平成30年	令和元年	令和2年
火 災 件 数	建 物		4	6	3
	林 野				1
	車 両		1		1
	船 舶				
	航 空 機				
	そ の 他		2	3	1
	計		7	9	6
焼 損 棟 数	全 焼		2	3	1
	半 焼			1	1
	部 分 焼		3	3	1
	ぼ や		3	2	
	計		8	9	3
り 災 世 帯 数	全 損		1	2	1
	半 損				1
	小 損		4	5	
	計		5	7	2
り 災 人 員			11	23	5
死 傷 者 数	死 者				1
	負 傷 者	消 防 吏 員			
		消 防 団 員			
		そ の 他	1	2	1
		計	1	2	1
合 計			1	2	2
焼 損 面 積	建 物 (m ²) 床		193	587	224
	表		92	3	2
	林 野 (a)				26
焼 損 船 舶 隻 数					
焼 損 車 両 台 数			1		1

2 火災による焼失面積及び損害額の状況

(1月1日～12月31日)

年別	区 分		出 火 件 数	焼 失 面 積 等	損 害 額	1 件 当 た り の 損 害 額
	火 災 種 別					
平成 30 年	建 物		4 件	193 m ²	3,113 千円	778 千円
	林 野					
	車 両		1 件		300 千円	300 千円
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他		2 件	2830 a		
令 和 元 年	建 物		6 件	587 m ²	18,178 千円	3,029 千円
	林 野					
	車 両					
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他		3 件	1556 a	802 千円	267 千円
令 和 2 年	建 物		3 件	224 m ²	27,076 千円	9,025 千円
	林 野		1 件	26 a	270 千円	270 千円
	車 両		1 件		85 千円	85 千円
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他		1 件			

3 出火原因別火災の状況

(1月1日～12月31日)

年 別 種別 出火原因	平成30年						令和元年						令和2年						
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	そ の 他 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	そ の 他 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	そ の 他 計	
たばこ	1					1	1					1	1					1	
こんろ													1					1	
かまど																			
風呂かまど																			
炉																			
焼却炉	1					1													
ストーブ													1					1	
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道																			
排気管																			
電気機器											1	1							
電気装置																			
電灯・電話等の配線																			
内燃機関																			
配線器具	1		1			2													
火遊び																			
マッチ・ライター																			
たき火																			
溶接機・切断機	1					1													
灯火																			
衝突の花火																			
取灰																			
火入れ											1	1							
放火																		1	1
放火疑い																			
落雷																			
その他					2	2	1				1	2		1				1	
不明							4					4			1			1	
調査中																			
計	4		1			2	7	6				3	9	3	1	1		1	6

4 月別火災種別出火状況

(1月1日～12月31日)

年別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
	火災種別	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
平成30年	建物	1			3									4
	林野													
	車両			1										1
	船舶													
	航空機													
	その他			1					1					2
	計		1		2	3				1				7
令和元年	建物			2		1			1		1	1		6
	林野													
	車両													
	船舶													
	航空機													
	その他			1		2								3
	計			3		3			1		1	1		9
令和2年	建物							1		1	1			3
	林野									1				1
	車両		1											1
	船舶													
	航空機													
	その他					1								1
	計		1			1		1		2	1			6

5 曜日別火災種別出火状況

(1月1日～12月31日)

年別	曜日別		日	月	火	水	木	金	土	計
	火災種別									
平成30年	建物		1		1	1	1			4
	林野									
	車両			1						1
	船舶									
	航空機									
	その他						1	1		2
	計		1	1	1	1	2	1		7
令和元年	建物			3	1	1			1	6
	林野									
	車両									
	船舶									
	航空機									
	その他	1			1	1				3
	計	1	1	3	2	2			1	9
令和2年	建物			1		1	1			3
	林野				1					1
	車両				1					1
	船舶									
	航空機									
	その他								1	1
	計			1	2	1	1		1	6

6 時間別火災種別出火状況

(1月1日～12月31日)

時間	年別 火災種別	平成30年						令和元年						令和2年									
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	
0～1																							
1～2															1								1
2～3																							
3～4																							
4～5								1							1								
5～6																							
6～7																							
7～8																							
8～9								1							1								
9～10																							
10～11						1	1									1							1
11～12								1					2	3						1			1
12～13		1					1								1								1
13～14						1	1																
14～15															1								1
15～16																							
16～17		2					2	1						1	1								1
17～18													1	1									
18～19		1					1																
19～20				1			1																
20～21								1							1								
21～22								1							1								
22～23																							
23～24																							
不明																							
計		4		1			2	7	6					3	9	3	1	1				1	6

7 気象別火災種別出火状況

(1月1日～12月31日)

種別	年別	平成30年					令和元年					令和2年								
	区分	建物	林野	車両	船舶	その他	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	
天候	快晴																			
	晴れ	3				2	5	1				3	4	1	1				2	
	曇り	1		1			2	3					3	2				1	3	
	雨							2					2			1			1	
	雪(みぞれ)																			
	計	4		1		2	7	6				3	9	3	1	1		1	6	
気温	0℃以下																			
	1℃～5℃	1					1													
	6℃～10℃							2				2			1				1	
	11℃～15℃	2		1		1	4	1			1	2								
	16℃～20℃							2				1	3	1					1	2
	21℃～25℃	1					1					1	1	2						2
	26℃～30℃							1					1		1					1
	30℃以上					1	1													
	計	4		1		2	7	6				3	9	3	1	1		1	6	
湿度	30%未満											1	1							
	30%以上50%未満					1	1													
	50%以上70%未満	2					2	1				1	2	1					1	2
	70%以上	2		1		1	4	5				1	6	2	1	1				4
	計	4		1		2	7	6				3	9	3	1	1		1	6	
風速	0			1			1	2				2								
	1～2	2					2	2				1	3	3					1	4
	3～4	2				2	4	1				1			1					1
	5～6							1				2	3		1					1
	7～8																			
	9～10																			
	10以上																			
	計	4		1		2	7	6				3	9	3	1	1		1	6	
風向	北							1				1								
	北北東												1							1
	北東			1			1													
	東北東																			
	東																			
	東南東	1					1	1				1								
	南東														1				1	
	南南東							1				1	1	1					1	
	南																			
	南南西																			
	南西							1				1	2	1						1
	西南西	1				1	2	1				1	2							
	西											1	1						1	1
西北西	1					1														
北西	1					1								1					1	
北北西					1	1	1					1								
	計	4		1		2	7	6				3	9	3	1	1		1	6	

8 火災による死傷者の状況

(1月1日～12月31日)

年別	区 分 火 災 種 別	死者(人)	負 傷 者 (人)				合計(人)
			消 防 吏 員	消 防 団 員	そ の 他	計	
平成 30 年	建 物						
	林 野						
	車 両						
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他						
	計						
令 和 元 年	建 物				1		1
	林 野						
	車 両						
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他				1		1
	計				2		2
令 和 2 年	建 物			1	1		2
	林 野						
	車 両						
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他	1					1
	計	1		1	1		3

9 被害額1,000万円以上及び死者の発生した火災一覧

年月日	時分	出火場所	用途	火災種別	焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死者数	損害面積	損害額	出火原因
					棟	世帯	人	人	m ²	千円	
H5.1.16	2:00	工場	工場	建物	2				250.83	35,085	不明
H5.3.17	10:33	境内		その他				1			放火
H5.6.1	21:17	工場	工場	建物	1	1	6		686.10	59,279	整理機
H6.3.10	22:34	居室	工場併用住宅	建物	1	1	6		124.00	10,972	ストーブ
H6.8.16	8:34	納屋	納屋	建物	1			1	12.00	79	たばこ
H6.8.16	22:10	製造工場	工場	建物	1				138.00	49,348	その他
H8.3.6	15:37	居間	住宅	建物	1	1	1	1	120.00	13,641	その他
H8.11.16	14:18	食事室	住宅	建物	2	2	10	1	41.00	6,150	ストーブ
H9.5.14	10:11	運転席	軽貨物	車両				1	1台	24	放火
H10.1.11	11:36	物品販売店	店舗併用住宅	建物	1	1	3		284.00	19,322	ストーブ
H11.6.11	12:33	工場	向上併用住宅	建物	3	3	13		695.99	32,147	整理機
H11.11.17	23:42	路上		その他				1			放火
H14.1.23	18:37	居間	店舗併用住宅	建物	1	1	5		307.13	21,742	その他(落雷)
H15.4.13	15:00	居間	住宅	建物	5	5	15		300.00	19,500	たばこ
H16.1.18	2:43	寝室	住宅	建物	1	1	4	1	12.15	323	マッチ
H16.1.22	7:13	寝室	住宅	建物	1	1	4		240.00	23,706	たばこ
H16.2.14	16:51	天井	住宅	建物	1	1	2		261.00	27,665	その他(落雷)
H16.5.24	4:09	納屋	納屋	建物	2	1	4		216.00	16,520	不明
H17.1.16	8:08	助手席	乗用車	車両				1	1台	200	放火
H18.12.5	3:48	社員寮台所	社員寮兼車庫・倉庫	建物	1	2	2	1	271.00	10,527	不明
H19.2.6	0:24	居室	住宅	建物	2	2	9	2	338.00	26,993	たばこ
H19.5.1	19:58	作業場・工場	工場	建物	1				584.00	31,935	その他(乾燥機の異常燃焼)
H19.5.15	9:55	居室	住宅	建物	1	2	3	1	66.00	3,020	その他(簡易型ガスコンロの使用誤る)
H20.3.12	11:16	作業場	住宅兼作業場	建物	2	1	2		275.00	12,432	ストーブ
H21.4.13	21:20	工場	工場併用住宅	建物	5	6	21		776.35	50,349	不明
H23.3.25	不明	側溝内	排水路	その他				1			放火
H24.3.15	1:28	壁内	住宅	建物	1	1	3		175.30	16,250	落雷

年月日	時分	出火場所	用途	火災種別	焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死者数	損害面積	損害額	出火原因
H24.12.5	2:40	回廊	寺院	建物	2	2	4		657.09	45,813	不明
H25.2.27	19:15	居室	住宅	建物	1	1	1		391.94	24,421	ストーブ
H25.3.24	0:50	運転席	軽自動車	車両				1	1台	162	放火
H26.4.25	12:40	居室	住宅	建物	2	2	3		170.64	10,615	不明
H28.8.18	16:27	居室	住宅	建物	1	1	7		281.00	24,534	不明
R2.5.9	13:56	公園	公園の芝生	その他				1			放火
R2.10.19	14:20	居室	住宅	建物	1	1	2		179.00	18,220	ストーブ放置

救 急 統 計

1 救急業務の概要

(平成30年1月1日～12月31日)

区分 事故種別	件 数							割 合						
	出場 件数 (件)	搬 送 人 員 (人)						出場 件数 (%)	搬 送 人 員 (%)					
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
火 災	1				1		1	0.1				0.1		0.1
自 然 災 害														
水 難	1							0.1						
交 通	71	1	6	11	47		65	6.1	0.1	0.6	1.0	4.4		6.1
労 働 災 害	25		6	6	13		25	2.2		0.6	0.6	1.2		2.4
運 動 競 技	16		1	2	15		18	1.4		0.1	0.2	1.4		1.7
一 般 負 傷	185	5	48	40	78		171	16.0	0.5	4.5	3.8	7.4		16.1
加 害														
自 損 行 為	8	3	2				5	0.7	0.3	0.2				0.5
急 病	748	18	119	231	312		680	64.6	1.7	11.2	21.8	29.4		64.2
そ の 他	転院搬送	96		25	63	7	95	8.3		2.4	5.9	0.7		9.0
	医師搬送													
	資機材 等搬送													
	その他	7						0.6						
計	1158	27	207	353	473		1060	100.0	2.5	19.5	33.3	44.6		100.0

(令和元年1月1日～12月31日)

区分 事故種別	件 数							割 合						
	出場 件数 (件)	搬 送 人 員 (人)						出場 件数 (%)	搬 送 人 員 (%)					
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
火 災	2			2			2	0.2			0.2			0.2
自 然 災 害														
水 難														
交 通	59		4	11	43		58	5.6		0.4	1.1	4.4		6.0
労 働 災 害	9		2	1	6		9	0.8		0.2	0.1	0.6		0.9
運 動 競 技	11		1	3	7		11	1.0		0.1	0.3	0.7		1.1
一 般 負 傷	186	2	47	29	84		162	17.5	0.2	4.8	3.0	8.6		16.7
加 害	4			1	3		4	0.4			0.1	0.3		0.4
自 損 行 為	9				1		1	0.8				0.1		0.1
急 病	694	13	96	225	305		639	65.3	1.3	9.9	23.1	31.4		65.7
そ の 他	転院搬送	84		24	55	7	86	7.9		2.5	5.7	0.7		8.8
	医師搬送													
	資機材 等搬送													
	その他	4							0.4					
計	1062	15	174	327	456		972	100.0	1.5	17.9	33.6	46.9		100.0

(令和2年1月1日～12月31日)

区分 事故種別	件 数							割 合							
	出場 件数 (件)	搬 送 人 員 (人)						出場 件数 (%)	搬 送 人 員 (%)						
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	
火 災	1			1	1		2	0.1			0.1	0.1		0.2	
自 然 災 害															
水 難															
交 通	56		5	8	43		56	5.6		0.5	0.9	4.7		6.1	
労 働 災 害	18		1	6	11		18	1.8		0.1	0.7	1.2		2.0	
運 動 競 技	5				5		5	0.5				0.5		0.5	
一 般 負 傷	206	8	43	58	78		187	20.6	0.9	4.7	6.3	8.5		20.5	
加 害	1				1		1	0.1				0.1		0.1	
自 損 行 為	11	1		2	1		4	1.1	0.1		0.2	0.1		0.4	
急 病	626	17	85	214	251		567	62.6	1.9	9.3	23.4	27.5		62.0	
そ の 他	転院搬送	74		18	44	12		74	7.4		2.0	4.8	1.3		8.1
	医師搬送														
	資機材 等搬送														
	その他	2							0.2						
計	1000	26	152	333	403		914	100.0	2.8	16.6	36.4	44.1		100.0	

2 月別事故種別出動状況

(1月1日～12月31日)

事故種別	区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	等資搬送材	その他	
平成30年	1月	1			6	1		30		1	83	13			1	136
	2月				5	3	2	20			64	9				103
	3月				7	1	1	15			51	7			2	84
	4月				5	2		14		1	71	5				98
	5月				13	1	1	8		1	55	5				84
	6月				7	8	2	14			47	6				84
	7月			1	3	4	2	16			67	10			3	106
	8月				6	2	1	16		1	86	9			1	122
	9月				6	1		16		1	57	5				86
	10月				3	1	3	7			55	9				78
	11月				4	1	3	15		2	51	8				84
	12月				6		1	14		1	61	10				93
	計		1		1	71	25	16	185		8	748	96		7	1158
令和元年	1月				5			12		3	73	6				99
	2月				4	4		8		1	55	11				83
	3月	1			2	1		19			50	11			1	85
	4月				5	1	1	18			53	5				83
	5月	1			9	1	1	18	1	1	50	6				88
	6月				6	1		21	1		48	4				81
	7月				9		4	16		1	63	5			1	99
	8月				9	1	4	19		1	76	12				122
	9月				4			18	1	1	55	4			2	85
	10月				3			12	1		62	7				85
	11月				2			15		1	56	5				79
	12月				1		1	10			53	8				73
	計		2			59	9	11	186	4	9	694	84		4	1062
令和2年	1月				8	4		22		1	61	7			1	104
	2月				7	2		11			33	1				54
	3月							17		4	45	13				79
	4月				4	2		17		1	51	3				78
	5月				4			10		1	48	3				66
	6月				3	1		17			44	4			1	70
	7月				2	1	1	21			45	6				76
	8月				7	4	3	16			79	11				120
	9月				3	3	1	26		1	62	10				106
	10月				8			15		1	53	9				86
	11月				7	1		21		1	48	1				79
	12月	1			3			13	1	1	57	6				82
	計		1			56	18	5	206	1	11	626	74		2	1000

3 時間別出動状況

(1月1日～12月31日)

年	時間別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	計	
	事故種別	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
平成30年	火災										1			1	
	自然災害														
	水難							1						1	
	交通		1	1	5	10	10	3	8	16	9	5	3	71	
	労働災害				2	4	6		6	4	2	1		25	
	運動競技					1	3	2	5	2	2	1		16	
	一般負傷	4	4	10	17	26	26	17	26	18	11	17	9	185	
	加害														
	自損行為			1	2	2			2	1				8	
	急病	38	35	35	64	86	72	76	70	72	84	68	48	748	
	その他	転院搬送		1		1	11	20	20	21	14	5	1	2	96
		医師搬送													
		資機材等搬送													
その他		1					1		1	1	2	1		7	
計	43	41	47	91	140	138	119	139	128	116	94	62	1158		
令和元年	火災			1						1				2	
	自然災害														
	水難														
	交通	1			3	2	12	12	12	7	6	2	2	59	
	労働災害					2	2		1	2	1		1	9	
	運動競技					1	2	3	2	1	1	1		11	
	一般負傷	5	2	5	15	27	27	19	16	23	23	12	12	186	
	加害					2				1			1	4	
	自損行為	1		1		1	2			2	2			9	
	急病	29	29	24	67	88	77	66	60	59	86	62	47	694	
	その他	転院搬送	1				10	18	19	11	13	9	1	2	84
		医師搬送													
		資機材等搬送													
その他											3	1		4	
計	37	31	31	85	133	140	119	102	109	131	79	65	1062		
令和2年	火災												1	1	
	自然災害														
	水難														
	交通	4		1	4	2	8	5	10	8	9	2	3	56	
	労働災害			1	1	4	6	2	3		1			18	
	運動競技						3	2						5	
	一般負傷	4	5	11	15	38	27	19	24	17	19	13	14	206	
	加害								1					1	
	自損行為		1		2	3		1		1	2	1		11	
	急病	32	37	44	52	63	60	70	60	57	58	49	44	626	
	その他	転院搬送		1	1		7	23	12	12	13	2	1	2	74
		医師搬送													
		資機材等搬送													
その他									1		1			2	
計	40	44	58	74	117	127	111	111	96	92	66	64	1000		

4 事故種別覚知別出動状況

(1月1日～12月31日)

事故種別	平成30年						令和元年						令和2年					
	119番	加入電話	駆付通報	警察	その他	計	119番	加入電話	駆付通報	警察	その他	計	119番	加入電話	駆付通報	警察	その他	計
火災	1					1			2			2					1	1
自然災害																		
水難	1					1												
交通	56	1	4	2	8	71	48	1	1	3	6	59	50		5	1		56
労働災害	24		1			25	8				1	9	14		1		3	18
運動競技	15		1			16	11					11	5					5
一般負傷	174	2	7		2	185	176	1	3	2	4	186	203		2	1		206
加害							4					4					1	1
自損行為	6			1	1	8	8				1	9	10				1	11
急病	698	3	28	4	15	748	659	2	22	3	8	694	580	1	33	6	6	626
その他	転院搬送	96				96	84					84	74					74
	医師搬送																	
	資機材等搬送																	
	その他	4	2		1	7	3	1				4	2					2
計	1075	8	41	8	26	1158	1001	5	28	8	20	1062	938	1	41	8	12	1000

5 事故種別曜日別出動状況

(1月1日～12月31日)

事故種別	平成30年								令和元年							令和2年									
	日	月	火	水	木	金	土	計	日	月	火	水	木	金	土	計	日	月	火	水	木	金	土	計	
火災				1			1	1				1				2	1							1	
自然災害																									
水難	1						1																		
交通	8	15	8	11	5	9	15	71	11	9	7	5	11	4	12	59	7	9	8	11	7	6	8	56	
労働災害		8	8	1	2	3	3	25		3		1	2	2	1	9	1	1	2	4	4	5	1	18	
運動競技	8		2		1	1	4	16	5	1	2				3	11	1	1	1				2	5	
一般負傷	36	32	20	29	19	25	24	185	26	19	35	26	29	23	28	186	25	27	25	41	37	23	28	206	
加害												1	1		2	4	1							1	
自損行為	1	1	2	1		2	1	8	1	1	1	3	1	1	1	9	2	1			4		4	11	
急病	126	108	105	96	90	126	97	748	110	115	95	97	87	89	101	694	97	95	78	99	89	82	86	626	
その他	転院搬送	5	18	18	14	14	20	7	96	1	18	14	13	16	16	6	84	5	11	11	10	22	10	5	74
	医師搬送																								
	資機材等搬送																								
	その他		1	3	1	2		7			1	2		1		4	1						1	2	
計	185	183	166	154	133	186	151	1158	155	166	155	149	147	136	154	1062	140	146	125	165	163	127	134	1000	

6 事故種別年齢区分別搬送状況

(1月1日～12月31日)

年	年齢区分 事故種別	新生児		乳幼児		少年		成人		老人		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	性別												
平成30年	火災							1				1	
	自然災害												
	水難												
	交通				1	2	2	15	22	12	11	29	36
	労働災害							14	4	7		21	4
	運動競技					8		9	1			17	1
	一般負傷			4	4	6	2	16	12	65	62	91	80
	加害												
	自損行為							3	1	1		4	1
	急病			18	7	8	7	109	77	238	216	373	307
	その他			1	1	1		4	6	40	42	46	49
	計			23	13	25	11	171	123	363	331	582	478
令和元年	火災							1			1	1	1
	自然災害												
	水難												
	交通			2	1	1	4	15	18	9	8	27	31
	労働災害							3	2	4		7	2
	運動競技					4		4	2		1	8	3
	一般負傷			8	6	3		16	8	57	64	84	78
	加害							2		1	1	3	1
	自損行為							1				1	
	急病			21	12	5	6	87	75	233	200	346	293
	その他	1			1	1		12	8	30	33	44	42
	計	1		31	20	14	10	141	113	334	308	521	451
令和2年	火災							1			1	1	1
	自然災害												
	水難												
	交通			2		2	2	25	12	9	4	38	18
	労働災害							13	3	2		15	3
	運動競技					3		1			1	4	1
	一般負傷			6	1	2	1	14	9	60	94	82	105
	加害										1		1
	自損行為							2	2			2	2
	急病	1		5	8	4	1	77	54	233	184	320	247
	その他				1			8	6	29	30	37	37
	計	1		13	10	11	4	141	86	333	315	499	415

7 救急隊員の行った応急処置の状況

(1月1日～12月31日)

年 事故種別	平成30年					令和元年					令和2年				
	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計
止血	4	3	13	4	24		4	35	2	41	2	4	20	6	32
固定	5	41	34	21	101	6	37	26	10	79	4	33	23	7	67
人工呼吸	1	1			2	2				2	1				1
酸素吸入	171	5	15	49	240	159	3	8	45	215	128	6	12	28	174
保温	7		1	5	13	8		3	1	12	4			2	6
被覆	3	4	31	10	48	2	5	31	5	43		14	26	5	45
心肺蘇生	18	1	5	3	27	15		3		18	20		8	1	29
自動式 心マッサージ器	11		2		13	7		2		9	10		4	1	15
在宅療法	1				1	1				1	1				1
ショックパンツ															
血圧測定	648	62	160	141	1011	605	57	153	112	927	542	55	176	102	875
心音・呼吸音聴取	448	37	59	90	634	433	41	59	79	612	424	42	85	70	621
血中酸素 飽和度測定	657	63	165	140	1025	616	58	157	113	944	550	56	179	102	887
心電図測定	577	31	85	101	794	542	29	80	87	738	508	38	102	84	732
伝送															
気道確保	38	2	7	4	51	28		4		32	37	1	8	1	47
経鼻エアウェイ	1				1										
喉頭鏡、鉗子等	2		1	1	4								1		1
ラリゲアルマスク等	8	1	1		10	6		1		7	14		2		16
気管挿管			1		1								2		2
除細動	5				5	1				1	3				3
静脈路確保	18	1	3	3	25	14		1		15	18		4	1	23
薬剤投与	14		3	3	20	8		1		9	13		4		17
血糖測定	112	1	4	2	119	65		3	4	72	60		1	1	62
ブドウ糖投与	5				5	2				2	4				4
心停止前輸液	13	2	2	1	18	6		1		7	7	2		1	10
その他	618	35	118	123	894	576	37	118	98	829	537	51	176	98	862
計	3385	290	710	701	5086	3102	271	686	556	4615	2887	302	833	510	4532

救 助 統 計

1 救助活動状況

(1月1日～12月31日)

年	事故種別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 故	建 物 に よ る 故	酸 ガ ス 事 及 故 び	爆 発 事 故	そ の 他 の 故	合 計
	区分										
平成 30 年	出場件数		8	2						6	16
	活動件数		4							6	10
	救助人員		5							6	11
令和 元 年	出場件数		6				2			2	10
	活動件数		1				2			2	5
	救助人員		1				2			2	5
令和 2 年	出場件数		1			1	4			1	7
	活動件数						2				2
	救助人員						2				2

予 防 関 係

1 防火対象物

(4月1日～3月31日)

防火対象物		年 別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	イ	劇場、映画館、観覧場類	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	56	56	56
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	4	4
	ハ	性風俗営関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス類	1	1	1
3	イ	待合、料理店類			
	ロ	飲食店	29	29	30
4		百貨店、マーケット類	51	50	49
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	8	8	8
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	125	125	125
6	イ	病院、診療所、助産所	15	15	15
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム類	12	12	11
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所類	34	37	38
	ニ	幼稚園、特別支援学校			
7		学校、各種学校類	21	21	21
8		図書館、博物館、美術館類	1	1	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気・熱気浴場類			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	1
10		車両の停車場類			
11		神社、寺院、教会類	27	27	27
12	イ	工場、作業所	594	593	592
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫、駐車場	12	12	13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	157	160	159
15		前各項に該当しない事業所	151	154	153
16	イ	特定複合用途防火対象物	127	128	126
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	100	101	102

2 防火対象物の火災予防査察実施状況

(4月1日～3月31日)

防火対象物		年 別		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		区 分		甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇場、映画館、観覧場類							
	ロ	公会堂、集会場		2	1	3	1		
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ類							
	ロ	遊技場、ダンスホール		1					
	ハ	性風俗営関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックス類							
3	イ	待合、料理店類							
	ロ	飲食店			2	1			5
4	百貨店、マーケット類		5		1	1	4		
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類		1					
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅			1			1	
6	イ	病院、診療所、助産所				1		5	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム類							
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所類		2	1		3	2	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校							
7	学校、各種学校類						2		
8	図書館、博物館、美術館類								
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気・熱気浴場類							
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							
10	車両の停車場類								
11	神社、寺院、教会類								
12	イ	工場、作業所		4	5	14	2	3	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場			2				1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫							
14	倉庫			7	1	1	2	2	
15	前各項に該当しない事業所		4	11		2		3	
16	イ	特定複合用途防火対象物		6	2	3	1		1
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物					1		1

3 高層建築物の状況

(令和2年4月1日)

防火対象物		階数別	3 階	4 階	5階以上	計
1	イ	劇場、映画館、観覧場類				
	ロ	公会堂、集会場				
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ類				
	ロ	遊技場、ダンスホール				
	ハ	性風俗営関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス類				
3	イ	待合、料理店類				
	ロ	飲食店				
4		百貨店、マーケット類	3			3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	1	1		2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	26	11	5	42
6	イ	病院、診療所、助産所	1	1		2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム類	3	1		4
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所類	2			2
	ニ	幼稚園、特別支援学校				
7		学校、各種学校類	8	3		11
8		図書館、博物館、美術館類				
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気・熱気浴場類				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場				
10		車両の停車場類				
11		神社、寺院、教会類	1			1
12	イ	工場、作業所	9		3	12
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場				
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	3			3
15		前各項に該当しない事業所	8	1	1	10
16	イ	特定複合用途防火対象物	19	3	1	23
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	6			6

4 建築同意事務の処理状況

(1)用途別状況

(4月1日～3月31日)

種 別	年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
劇場、映画館・集会場等				
キャバレー・遊技場・風俗店等				
待合、料理店・飲食店等		2	1	2
百貨店、マーケット類		1	2	3
旅館、ホテル・共同住宅等				2
病院・福祉施設・幼稚園等		4	3	6
学校、各種学校等		2	2	
図書館、博物館、美術館				
サウナ浴場・公衆浴場等				
車両の停車場等				
神社、寺院、教会等				
工場、作業所・スタジオなど		7	4	3
自動車車庫、駐車場・飛行機格納庫等		2		3
倉庫		5	1	2
上記に該当しない事業所		7	3	3
複合用途防火対象物		5	1	1
地下街				
重要文化財等				
一般住宅		7	5	6
対象物外(長屋、50㎡以下等)		19	18	12
合 計		61	40	43

(2) 工事別状況

(4月1日～3月31日)

種 別	年 別		平成30年度					令和元年度					令和2年度							
	工事種別		新 築	増 築	改 築	仮 設	用 途 変 更	計	新 築	増 築	改 築	仮 設	用 途 変 更	計	新 築	増 築	改 築	仮 設	用 途 変 更	計
劇場、映画館・集会場等																				
キャバレー・遊技場・風俗店等																				
待合、料理店・飲食店等			1	1				2		1				1	2					2
百貨店、マーケット類			1					1	1	1				2	3					3
旅館、ホテル・共同住宅等														2						2
病院・福祉施設・幼稚園等			1	3				4	2	1				3	3	3				6
学校、各種学校等				2				2	1	1				2						
図書館、博物館、美術館																				
サウナ浴場・公衆浴場等																				
車両の停車場等																				
神社、寺院、教会等																				
工場、作業所・スタジオなど			5	2				7	3	1				4	2	1				3
自動車車庫、駐車場等			2					2						2		1				3
倉庫			5					5				1	1	2						2
上記に該当しない事業所			5		2			7	2		1			3	2	1				3
複合用途防火対象物			5					5	1					1	1					1
地下街																				
重要文化財等																				
一般住宅			7					7	5					5	6					6
その他			16	1	2			19	17	1				18	12					12
合 計			48	9	4			61	32	6	1		1	40	37	5	1			43

5 消防用設備設置状況

(4月1日～3月31日)

消防用設備等の種類		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
消 火 設 備	消 火 器 具		1502	1517	1517
	屋 内 消 火 栓 設 備		106	108	107
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		24	26	25
	水 噴 霧 消 火 栓 設 備		7	7	7
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備		8	8	8
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備		412	417	420
	漏 電 火 災 警 報 器		3	31	32
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備		118	124	125
避 難 設 備	避 難 器 具		53	54	53
	誘 導 灯		340	349	354
消 防 用 水			4	4	4
消 火 活 動 上 必 要 な 施 設	排 煙 設 備		2	2	2
	連 結 散 水 設 備		1	1	1
	連 結 送 水 設 備		3	3	3

6 火災予防条例に基づく各種届出状況

(4月1日～3月31日)

届出種類	年 度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
防火対象物使用開始届	38	31	30
炉・かまど・ボイラー乾燥設備・火花を発生する設備設置届	1	2	8
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届	6	14	18
ネオン管灯設備設置届			
水素ガスを充てんする気球の設置届			
火災とまぎらわしい煙又は火災を発生するおそれのある行為の届	18	23	19
煙火打上げ・仕掛け届	32	20	3
催物開催届			
水道断水・減水届			
少量危険物・準危険物・特殊可燃物・貯蔵取扱い届	5	9	13
道路工事届	171	206	244
核燃料物資・放射性同位元素貯蔵取扱い届			
圧縮アセチレンガス・液化ガス・毒物貯蔵取扱い届	6	5	10

危険物関係

1 危険物製造所等設置状況

(4月1日～3月31日)

製造所等の別		年 度		
		平成30年度	令和元年	令和2年
貯 蔵 所	屋内タンク貯蔵所	2	2	2
	屋内貯蔵所	3	3	3
	屋外タンク貯蔵所	17	17	15
	地下タンク貯蔵所	49	46	46
	移動タンク貯蔵所	13	12	11
	屋外貯蔵所	2	2	2
	簡易タンク貯蔵所	2	2	2
取 扱 所	給油取扱所	22	22	22
	一般取扱所	17	17	18
計		127	123	121

2 危険物製造所等の許可・完成検査等の状況

(4月1日～3月31日)

年 度		平成30年度					令和元年度					令和2年度				
		許 可		完成検査		廃 止 届	許 可		完成検査		廃 止 届	許 可		完成検査		廃 止 届
		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更			
製造所等の別		設 置	変 更	設 置	変 更	廃 止 届	設 置	変 更	設 置	変 更	廃 止 届	設 置	変 更	設 置	変 更	廃 止 届
貯 蔵 所	屋内タンク貯蔵所															
	屋 内 貯 蔵 所															
	屋外タンク貯蔵所		1		1											2
	地下タンク貯蔵所		1		1	3	1				3			1		2
	移動タンク貯蔵所		1		1	2					1	1	2	1	2	2
	屋 外 貯 蔵 所															
	簡易タンク貯蔵所															
取 扱 所	給油取扱所		6		6	1		3		3						
	一 般 取 扱 所					2		1		1		1	1	1	1	
計			9		9	8	1	4		4	4	2	3	3	3	6

3 数量別製造所等の状況

(4月1日～3月31日)

(完成検査済証交付施設)

年 度	製造所等の状況 指定数量 の倍数	貯 蔵 所							取 扱 所		計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
平成 30 年 度	5 倍 以 下	1	1	4	28	1	13	2	1	6	57
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	1	1	3	12	1			3	8	29
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下		1	10	8				7	3	29
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下				1						1
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下								3		3
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下								3		3
	200 倍 を 超 え る も の								5		5
	計	2	3	17	49	2	13	2	22	17	127
令 和 元 年 度	5 倍 以 下	1	1	4	26	1	12	2	1	6	54
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	1	1	3	12	1			3	8	29
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下		1	10	7				7	3	28
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下				1						1
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下								3		3
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下								3		3
	200 倍 を 超 え る も の								5		5
	計	2	3	17	46	2	12	2	22	17	123
令 和 2 年 度	5 倍 以 下	1	1	3	25	1	11	2	1	7	52
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	1	1	2	13	1			3	7	28
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下		1	10	7				7	4	29
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下				1						1
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下								3		3
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下								3		3
	200 倍 を 超 え る も の								5		5
	計	2	3	15	46	2	11	2	22	18	121

消 防 団 関 係

1 消防団(分団)の位置等

名 称	所 在 地	管 轄 区 域
宇ノ気第一分団	かほく市森レ12-1	大崎・内日角・宇野気・七窪・宇気・森・鉢伏・湖北
宇ノ気第二分団	かほく市指江ソ14-1	狩鹿野・指江・多田・下山田・上山田・気屋
宇ノ気第三分団	かほく市横山リ196	横山・笠島・谷・上田名・余地
七塚第一分団	かほく市木津ニ149	木津・松浜
七塚第二分団	かほく市白尾ト2-1	白尾・外日角
七塚第三分団	かほく市浜北ニ3-7	秋浜・浜北・遠塚
高松第一分団	かほく市高松コ1	高松(南町・古宮町・元町・流川町・六軒町・中町・上北町 北中町・北新町・岸川町・桜井町・下伊丹町)
高松第二分団	かほく市夏栗い27	二ッ屋・中沼・夏栗・瀬戸町・八野・野寺・黒川 箕打・元女・若緑・長柄町
高松第三分団	かほく市高松ム68-16	高松(南新町・上伊丹町・東町・旭町・新旭町) 学園台・内高松

2 消防用車両等の状況

(1) 消防ポンプ自動車

名 称	車 種	年 式	検 定 力	型 式	台 数	備 考
宇ノ気第一分団	日野 デュトロ	H22	A-2	BDG-XZU378X	1台	CD-1
宇ノ気第二分団	日野 デュトロ	H24	A-2	TKG-XZU685M	1台	CD-1
宇ノ気第三分団	日野 デュトロ	H26	A-2	TKG-XZU685M	1台	CD-1
七塚第一分団	日野 デュトロ	H23	A-2	SKG-XZU685M	1台	CD-1
七塚第二分団	日野 デュトロ	H23	A-2	SKG-XZU685M	1台	CD-1
七塚第三分団	日野 デュトロ	H21	A-2	BDG-XZU378M	1台	CD-1
高松第一分団	いすゞ	H28	A-2	TKG-NMS85AN	1台	CD-1
高松第二分団	日野 デュトロ	H22	A-2	BDG-XZU378M	1台	CD-1
高松第三分団	日野 デュトロ	H22	A-2	BDG-XZU378M	1台	CD-1

3 消防団員の状況

(1) 階級別消防団員数

(4月1日)

項目 年度	定数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
平成30年度	190	1	3	9	9	18	36	105	181
令和元年度	190	1	3	9	9	18	36	95	171
令和2年度	190	1	3	9	9	18	36	92	168

(2) 年齢別消防団員数

(4月1日)

項目 年度	18 ～ 20 歳	21 ～ 25 歳	26 ～ 30 歳	31 ～ 35 歳	36 ～ 40 歳	41 ～ 45 歳	46 ～ 50 歳	51 ～ 55 歳	56 歳 以上	計	平均 年齢
平成30年度	1	17	10	41	30	26	32	10	14	181	38.8
令和元年度	2	11	16	30	31	30	23	16	12	171	39.1
令和2年度	2	12	17	24	30	33	20	19	11	168	40.2

(3) 在職年数別消防団員数

(4月1日)

項目 年度	5 年 未 満	10 年 未 満 5 年 以 上	15 年 未 満 10 年 以 上	20 年 未 満 10 年 以 上	25 年 未 満 20 年 以 上	30 年 未 満 25 年 以 上	30 年 以 上	計
平成30年度	54	41	29	23	13	11	10	181
令和元年度	51	31	33	19	17	10	10	171
令和2年度	41	38	33	16	21	7	12	168